

学生の手引

2019
保健学専攻
(博士前期課程)



金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
保健学専攻 (博士前期課程)

はじめに

この「学生の手引」は、学生の皆さんが保健学専攻に入学してから修了するまでの修学・学生生活上の手引きです。また「大学院便覧」にも有用な情報が掲載されていますので、修了までなくさないようにしてください。不明な点があれば問い合わせてください。

本書を大いに活用して、充実した研究活動を送ることを願っています。

保健学務係

電話 (076) 265-2514~2517

e-mail t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp

保健学専攻学生の手引 目次

○ 保健学専攻（博士前期課程）のCP・DPについて……………	1
○ 金沢大学における国際化への取組と英語学修について……………	2
○ 博士前期課程 授業科目一覧……………	3
○ 2019年度授業時間割表……………	7
○ 保健学専攻博士前期課程の研究指導等について……………	9
○ 博士前期課程の履修方法に関する細則……………	11
○ 博士前期課程学生の学位請求に関する細則……………	14
○ 保健学専攻（博士前期課程）学生の早期修了に係る申合せ……………	16
○ 保健学専攻における長期履修に関する申合せ……………	18
○ 保健学専攻博士前期課程における英語外部検定試験について……………	20
○ 授業科目履修計画表 ……………	21
○ 院生カルテ ……………	22
○ その他学修関係・学生生活関係について ……………	24
○ 図書室利用案内……………	29
○ 北陸高度がんプロ養成コースについて……………	36
○ 宝町・鶴間キャンパスマップ……………	42

保健学専攻(博士前期課程)のカリキュラム・ポリシー, ディプロマ・ポリシーについて

大学院医薬保健学総合研究科は「医学, 薬学及び保健学の教育, 研究及び診療を通して, 地域貢献, 世界への情報発信並びに優秀な高度医療人, 研究者及び専門的職業人を養成及び排出する」ことを目的としている。

本研究科には5年の博士課程として保健学専攻が設置され, 前期2年の課程(博士前期課程)と後期3年の課程(博士後期課程)に区分される。保健学専攻(博士前期課程)においては, 上記目標の達成のため, 以下に示すとおり教育課程編成方針を定め, それに応じた学位授与方針を定めている。

● 保健学専攻のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)

- ・看護科学, 医療科学, リハビリテーション科学における高度専門職業人の養成と, 博士後期課程との一貫教育により保健学における教育者・研究者の育成を目標とする。
- ・保健学に関する豊かで幅広い学識と問題解決能力を有する高度専門医療人をを目指す。
- ・看護科学領域, 医療科学領域, リハビリテーション科学領域における教育者・研究者を目指す。
- ・高度化, 多様化した保健・医療・福祉を支える高度で知的な素養のある医療人をを目指す。

上記の目標達成のために, 保健学共通科目, 領域共通科目を必修とし, 他分野の科目も履修した上で, 専門分野の科目と課題研究によりカリキュラムを編成する。

● 保健学専攻のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

- ・保健学の広い領域にも学識豊富であり, 専門分野における知識, 技能に優れ, 課題研究により新たな知見を見いだす事ができる。
- ・高度先端保健医療の開発能力とともに, 生命の尊厳と保健医療に対する倫理観と責任感にあふれ, 種々の医療分野の専門職と連携し, 高度の医療技術を駆使したチーム医療を実践できる。

以上の人材養成目標を達成し, かつ全人的医療を担える高度専門医療人および保健学分野における教育者・研究者として期待できる者に修士(保健学)の学位を授与する。

金沢大学における国際化への取組と英語学修について

社会のグローバル化が急速に進むなか、さまざまな場でグローバルに活躍できる人材の育成が、急務となっています。世界各国でこうした高度人材の育成が戦略的に進められる今、日本の大学においても、グローバルリーダー育成のための体制強化が求められています。また、大学院生にとっては研究を行う上で、英語が重要なスキルであることや海外での学修が貴重な経験となることについては言うまでもありません。

こうした背景から、金沢大学では、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマにスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業など各種取組を進めており、平成 35 年度までに TOEIC760 点又は TOEFL-iBT80 点相当の学生が大学院課程の 85%以上とすることや、平成 33 年度までに海外学修体験の人数を 270 人以上とするなどの目標に掲げています。

本学では学生の皆さんへの英語学習の継続的強化を目的とし、学類における複数の言語科目の開講や授業科目の英語化を進めるとともに、海外での学修体験を推奨するため、海外留学をはじめとした海外体験活動の支援等を実施しています。

みなさんの英語能力強化の一環として、平成 30 年度以降に博士前期課程（修士課程）に入学する原則全員に、英語の外部検定試験を在学中に受験する制度を設けました。

なお、金沢大学では英語学習のための E-Learning 講座、個別相談による学習支援等皆さんの継続的な英語学習に向けたサポートを実施していますので是非ご利用ください。

医薬保健学総合研究科保健学専攻(博士前期課程) 授業科目一覧(1/4)

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
大学院GS科目			研究者倫理	03601	黒川, 大桑	1	15	1年第1Q or 2年第1Q
			保健学研究概論	03602	大桑, 稲垣, 津田, 毎田, 市川, 櫻井, 三秋, 西村	1	15	1年第2Q or 2年第2Q
			研究方法論(基礎)	03603a	岡本(成), 中谷, 川井, 小野口, 北村, 笠島, 山崎, 少作	1	15	1年第3Q or 2年第3Q
			研究方法論(臨床)	03604a	稲垣, 表, 加藤, 塚崎, 小林(聡), 稲津, 浅井, 菊池	1	15	1年第4Q or 2年第4Q
			科学英語	03605	未定	1	15	1年第1Q or 2年第1Q
保健学専攻共通科目			臨床心理学特論	03003	五十嵐	2	30	1年前期 or 1年後期
			福祉行政学特論	03004	山下	2	30	1年後期
			医療経済学特論	03005	長友	2	30	1年前期 or 1年後期
			医療統計学特論	03006	井上	2	30	1年後期
			臨地マネージメント演習	注釈参照	各教員	4	60	全学期
			予防医学概論	03009	中村, 宮地	4	60	1年後期
			保健学研究方法論Ⅱ	03010	大桑	2	30	1年後期
看護科学領域共通科目			看護学研究方法特論Ⅰ	03105	稲垣, 大桑, 加藤, 塚崎, 津田, 藤野, 鏡, 柳原	1	15	1年第1Q
			看護学研究方法特論Ⅱ	03106	表, 田淵, 毎田, 中谷, 須釜, 河村, 谷口, 岡本(理)	1	15	1年第2Q
			生体機能学特論	03102	中谷, 藤野	2	30	1年前期
			看護理論特論	03103	稲垣, 谷口	1	15	1年第1Q
			看護管理特論	03104a	田淵, 稲垣, 他	1	15	1年第4Q
			看護教育特論	03107	加藤, 堀井, 大桑, 多崎, 足立, 稲垣	1	15	1年第2Q
臨床実践看護学	慢性・創傷看護技術学		創傷看護技術学特論	03111	大桑, 須釜, 中谷, 大貝	2	30	1年前期
			創傷看護技術学演習	03112	大桑, 須釜, 中谷, 大貝	4	60	1年後期
			慢性・終末期看護技術学特論	03113	稲垣, 柳原, 藤野, 多崎	2	30	1年前期
			慢性・終末期看護技術学演習	03114	稲垣, 柳原, 藤野, 多崎	4	60	1年後期
			慢性・創傷看護技術学課題研究	03131	稲垣, 中谷, 須釜, 大桑, 多崎, 柳原, 大貝	10	300	2年前～後期
	老年リハビリテーション・精神看護学		老年・リハビリテーション看護学特論	03125	加藤, 谷口, 正源寺	2	30	1年前期
			老年・リハビリテーション看護学演習	03126	加藤, 谷口, 正源寺	4	60	1年後期
			精神看護学特論	03123	河村	2	30	1年前期
			精神看護学演習	03124	河村	4	60	1年後期
			老年リハビリテーション・精神看護学課題研究	03133	加藤, 河村	10	300	2年前～後期

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※講義内容は、金沢大学SYLLABUS(<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>)を参照すること。

※この表において「前期」とは4月～9月期を、「後期」とは10月～3月期をさします。なお、「第1Q」とは前期前半(第1クォーター)、「第2Q」とは前期後半(第2クォーター)、「第3Q」とは後期前半(第3クォーター)、「第4Q」とは後期後半(第4クォーター)をさします。

医薬保健学総合研究科保健学専攻(博士前期課程) 授業科目一覧(2/4)

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
看護学	健康発達看護学	女性・小児環境発達学	女性発達看護学特論	03141	田淵, 毎田, 鏡	2	30	1年前期
			女性発達看護学演習	03142	田淵, 毎田, 鏡	4	60	1年後期
			小児環境発達学特論	03143	津田	2	30	1年前期
			小児環境発達学演習	03144	津田	4	60	1年後期
			女性・小児環境発達学課題研究	03161	田淵, 毎田, 津田, 鏡	10	300	2年前～後期
		助産学	助産学特論	03171	田淵, 毎田, 鏡	2	30	1年前期
			助産学演習	03172	田淵, 毎田, 鏡	4	60	1年後期
			助産学課題研究	03191	田淵, 毎田, 鏡	10	300	2年前～後期
			助産学概論	03173	田淵, 毎田, 鏡	2	30	1年前期
			ローリスク助産診断学	03174	田淵, 毎田, 鏡	2	30	1年前期
			ハイリスク助産実践・応用学	03175	田淵, 毎田, 鏡	2	30	1年前期
			国際助産学	03192	田淵, 鏡	1	15	1年後期
			出産教育・コンサルテーション	03177	田淵, 鏡	2	30	1年後期
			助産管理学	03193	田淵, 鏡	2	30	1年後期
			周産期助産診断演習Ⅰ	03194	田淵, 鏡, 小西	2	60	1年前～後期
			周産期助産診断演習Ⅱ	03195	田淵, 毎田, 鏡, 小西	4	120	1年前～後期
			助産学実習Ⅰ	03196	田淵, 毎田, 鏡, 小西	4	180	1年前期～2年前期
			助産学実習Ⅱ	03182	田淵, 毎田, 鏡, 小西	4	180	1年後期
			助産学実習Ⅲ	03197	田淵, 毎田, 鏡, 小西	2	90	1年後期～2年前期
			助産管理実習	03198	田淵, 鏡, 小西	2	90	1年後期～2年前期
		国際・比較助産実習	03199	田淵, 毎田, 鏡, 小西	2	90	1年	
		公衆衛生・在宅看護学	公衆衛生・在宅看護学特論	03153	塚崎, 表, 岡本(理), 京田, 板谷	2	30	1年前期
			公衆衛生・在宅看護学演習	03154	塚崎, 表, 岡本(理), 京田, 板谷	4	60	1年後期
			公衆衛生・在宅看護学課題研究	03163	塚崎, 表, 岡本(理)	10	300	2年前～後期

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※講義内容は、金沢大学SYLLABUS(<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>)を参照すること。

※この表において「前期」とは4月～9月期を、「後期」とは10月～3月期をさします。なお、「第1Q」とは前期前半(第1クォーター)、「第2Q」とは前期後半(第2クォーター)、「第3Q」とは後期前半(第3クォーター)、「第4Q」とは後期後半(第4クォーター)をさします。

医薬保健学総合研究科保健学専攻(博士前期課程) 授業科目一覧(3/4)

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期	
医療科学	医療科学領域共通科目		医用放射線科学研究方法論	03301	武村, 岡本(博), 中山, 松原, 田中(利), 林, 小林(正), 大野, 川嶋(広), 澁谷	1	15	1年第1Q	
			医用検査科学研究方法論	03302	稲津, 本多, 櫻井, 森下, 岡本(成), 北村, 関根, 古荘, 笠島, 杉谷, 本間, 關谷, 尾崎, 白崎, 片桐	1	15	1年第2Q	
			医学物理学特論	03303	武村, 川井, 小野口, 宮地, 市川, 川嶋(博), 小林(聡), 岡本(博), 中山, 松原, 田中(利), 林	2	30	全学期前/後期	
	量子医療技術学	機能画像解析学		放射線画像構築学特論	03311	市川, 岡本(博), 田中(利), 林, 川嶋(広)	2	30	1年前期
				放射線画像構築学演習	03312	市川, 岡本(博), 田中(利), 林, 川嶋(広)	4	60	1年後期
				生体機能解析学特論	03313	川井, 小林(正)	2	30	1年前期
				生体機能解析学演習	03314	川井, 小林(正)	4	60	1年後期
				生体画像情報学特論	03315	宮地, 中山, 大野	2	30	1年前期
				生体画像情報学演習	03316	宮地, 中山, 大野	4	60	1年後期
				機能画像解析学課題研究	03331	川井, 宮地, 市川, 岡本(博), 中山, 田中(利), 林, 小林(正)	10	300	2年前~後期
		量子診療技術学		臨床画像技術学特論	03321	川嶋(博), 小林(聡)	2	30	1年前期
				臨床画像技術学演習	03322	川嶋(博), 小林(聡)	4	60	1年後期
				放射線治療安全技術学特論	03323	武村, 松原	2	30	1年前期
				放射線治療安全技術学演習	03324	武村, 松原	4	60	1年後期
				分子イメージング学特論	03325a	小野口, 澁谷	2	30	1年前期
				分子イメージング学演習	03326a	小野口, 澁谷	4	60	1年後期
				量子診療技術学課題研究	03332	小野口, 川嶋(博), 小林(聡), 武村, 松原	10	300	2年前~後期
	病態検査学	分子生物検査学		感染病原因子学特論	03343	岡本(成), 杉谷	2	30	1年前期
				感染病原因子学演習	03344	岡本(成), 杉谷	4	60	1年後期
				医用工学特論	03341	北村, 関根, 古荘	2	30	1年前期
				医用工学演習	03342	北村, 関根, 古荘	4	60	1年後期
				生命情報処理学特論	03345	稲津, 本間, 荒磯	2	30	1年前期
				生命情報処理学演習	03346	稲津, 本間, 荒磯	4	60	1年後期
				分子生物検査学課題研究	03361	稲津, 岡本(成), 関根, 北村, 古荘	10	300	2年前~後期
				腫瘍検査学		血液免疫病態学特論	03351	森下, 關谷, 片桐	2
		血液免疫病態学演習	03352			森下, 關谷, 片桐	4	60	1年後期
		腫瘍分子生物学特論	03353			本多, 櫻井, 尾崎, 白崎	2	30	1年前期
腫瘍分子生物学演習		03354	本多, 櫻井, 尾崎, 白崎			4	60	1年後期	
臨地マネージメント病理演習		03355	笠島, 尾崎			4	60	1年前期	
細胞診断学演習		03356	笠島, 尾崎			4	60	1年後期	
腫瘍検査学課題研究		03362	本多, 櫻井, 森下, 笠島			10	300	2年前~後期	

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※講義内容は、金沢大学SYLLABUS(<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>)を参照すること。

※この表において「前期」とは4月~9月期を、「後期」とは10月~3月期をさします。なお、「第1Q」とは前期前半(第1クォーター)、「第2Q」とは前期後半(第2クォーター)、「第3Q」とは後期前半(第3クォーター)、「第4Q」とは後期後半(第4クォーター)をさします。

医薬保健学総合研究科保健学専攻(博士前期課程) 授業科目一覧(4/4)

領域	講座	教育研究分野	授業科目	時間割番号	担当教員	単位	時間	開講時期
リハビリテーション科学	リハビリテーション科学領域 共通科目		理学療法学研究方法論	03501	細, 浅井, 山崎, 山下, 三秋, 横川, 田中, 松崎, 間所	1	15	1年第1Q
			作業療法学研究方法論	03502	柴田, 染矢, 少作, 西村, 砂原, 米田	1	15	1年第1Q
	理学療法科学	障害解析学	障害評価学特論	03511	細, 山下, 三秋, 田中, 松崎	2	30	1年前期
			障害評価学演習	03512	細, 三秋, 田中, 松崎	4	60	1年後期
			機能回復学特論	03513	浅井, 山崎, 横川, 間所	2	30	1年前期
			機能回復学演習	03514	浅井, 山崎, 横川, 間所	4	60	1年後期
			障害解析学課題研究	03521	細, 浅井, 山崎, 三秋, 横川	10	300	2年前～後期
	作業療法科学	機能・能力回復学	生理機能解析学特論	03531	染矢, 少作, 米田, 菊池	2	30	1年前期
			生理機能解析学演習	03532	染矢, 少作, 米田, 菊池	4	60	1年後期
			作業能力回復学特論	03533	柴田, 西村, 砂原, 中嶋, 武田	2	30	1年前期
			作業能力回復学演習	03534	柴田, 西村, 砂原, 中嶋, 武田	4	60	1年後期
			機能・能力回復学課題研究	03541	染矢, 少作, 柴田, 西村, 砂原, 米田	10	300	2年前～後期

※詳細な開講時間帯は、授業時間割表で確認すること。

※講義内容は、金沢大学SYLLABUS(<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>)を参照すること。

※この表において「前期」とは4月～9月期を、「後期」とは10月～3月期をさします。なお、「第1Q」とは前期前半(第1クォーター)、「第2Q」とは前期後半(第2クォーター)、「第3Q」とは後期前半(第3クォーター)、「第4Q」とは後期後半(第4クォーター)をさします。

2019年度/前期 (第1Q, 第2Q) 保健学専攻授業時間割表 (博士前期課程)

曜日	領域	講座	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限			
			8:45 ~ 10:15	10:30 ~ 12:00	13:00 ~ 14:30	14:45 ~ 16:15	16:30 ~ 18:00	18:10 ~ 19:40	19:50 ~ 21:20			
			授業科目名・担当教員	授業科目名・担当教員	授業科目名・担当教員	授業科目名・担当教員	授業科目名・担当教員	授業科目名・担当教員	授業科目名・担当教員			
月	GS・専攻共通	研究者倫理 (第10)	高川, 大島 4111					研究者倫理 (第10)	高川, 大島 4111			
		保健学研究概論 (第20)	大島, 稲垣, 津田, 毎田, 市川, 櫻井, 三秋, 森村 4111					保健学研究概論 (第20)	大島, 稲垣, 津田, 毎田, 市川, 櫻井, 三秋, 森村 4111			
	領域共通	医用検査科学研究方法論 (第20)	稲津, 本多, 櫻井, 森下, 岡本(成), 北村, 関根, 吉住, 室島, 杉谷, 本間, 関谷, 尾崎, 白崎, 片桐 5104					医用検査科学研究方法論 (第20)	稲津, 本多, 櫻井, 森下, 岡本(成), 北村, 関根, 吉住, 室島, 杉谷, 本間, 関谷, 尾崎, 白崎, 片桐 5104			
		臨床										
	看護科学	健康	助産学実習Ⅲ (2年次担当科目)	田淵, 毎田, 鏡, 小西	助産学概論	田淵, 毎田, 鏡 5208				小児環境発達学特論	津田	
		医療科学	量子					生体機能解析学特論	川井, 小林(正) 3107	臨床画像技術学特論	川島(博), 小林(聡) 4108	
	リハビリテーション科学	病理			生命情報処理学特論	稲津, 本間, 荒磯 5301				生体機能解析学特論	川井, 小林(正) 3107	
		理学						機能回復学特論	浅井, 山崎, 横川, 関所 2102	生命情報処理学特論	稲津, 本間, 荒磯 5301	
	作業											
火	GS・専攻共通	看護学研究方法特論Ⅰ (第10)	中谷, 藤野 1218			看護学研究方法特論Ⅰ (第10)	稲垣, 大島, 加藤, 塚崎, 津田, 藤野, 鏡, 柳原 5208	看護学研究方法特論Ⅰ (第10)	稲垣, 大島, 加藤, 塚崎, 津田, 藤野, 鏡, 柳原 5208			
		看護学研究方法特論Ⅱ (第20)	表, 田淵, 毎田, 中谷, 須藤, 河村, 谷口, 岡本(理) 5208					看護学研究方法特論Ⅱ (第20)	表, 田淵, 毎田, 中谷, 須藤, 河村, 谷口, 岡本(理) 5208			
	領域共通	臨床		精神看護学特論	河村 5209					精神看護学特論	河村 5208	
		健康	ローリスク助産診断学	田淵, 毎田, 鏡 5208	周産期助産診断学Ⅰ	田淵, 鏡, 小西 5208						
	看護科学	量子					生体画像情報学特論	宮地, 中山, 大野 3107	生体画像情報学特論	宮地, 中山, 大野 3107	分子イメージング学特論	小野口, 澁谷 3107
		医療科学	病理	腫瘍分子生物学特論	本多, 櫻井, 尾崎, 白崎 5301					腫瘍分子生物学特論	本多, 櫻井, 尾崎, 白崎 5301	
	リハビリテーション科学	理学					生理機能解析学特論					
		作業					生理機能解析学特論	染矢, 少作, 米田, 菊池 2101	生理機能解析学特論	染矢, 少作, 米田, 菊池 2314		
	水	GS・専攻共通	看護理論特論 (第10)	稲垣, 谷口 5208					看護理論特論 (第10)	稲垣, 谷口 5208		
			看護教育特論 (第20)	加藤, 櫻井, 大島, 多崎, 足立, 稲垣 5208			作業療法学研究方法論 (第10)	表田, 染矢, 少作, 西村, 砂塚, 永田 2314	看護教育特論 (第20)	加藤, 櫻井, 大島, 多崎, 足立, 稲垣 5208		
領域共通		臨床										
		健康	小児環境発達学特論	津田	助産学特論	田淵, 毎田, 鏡 5208						
看護科学		量子	ハイリスク助産実践・応用学	田淵, 毎田, 鏡 5208			放射線治療安全技術学特論	武村, 松原 5210	放射線治療安全技術学特論	武村, 松原 5210	医用工学特論	北村, 関根, 吉住 5301
		医療科学	病理									
リハビリテーション科学		理学			障害評価学特論	細, 山下, 三秋, 田中, 松崎 2101			障害評価学特論	細, 山下, 三秋, 田中, 松崎 2102		
		作業					作業能力回復学特論	表田, 西村, 砂塚, 中嶋, 武田 2314	作業能力回復学特論	表田, 西村, 砂塚, 中嶋, 武田 2314		
木		GS・専攻共通	医用放射線科学研究方法論 (第10)	武村, 岡本(博), 中山, 松原, 田中(利), 林, 小林(正), 大野, 川嶋(広), 澁谷 4108					医用放射線科学研究方法論 (第10)	武村, 岡本(博), 中山, 松原, 田中(利), 林, 小林(正), 大野, 川嶋(広), 澁谷 4108		
			生体機能学特論	中谷, 藤野 1218					生体機能学特論	中谷, 藤野 1218		
	領域共通	臨床					老年・リハビリテーション看護学特論	加藤, 谷口, 正源寺 4305	老年・リハビリテーション看護学特論	加藤, 谷口, 正源寺 4305		
		健康	周産期助産診断学Ⅱ	田淵, 毎田, 鏡, 小西 5208	助産学実習Ⅰ (1年)	田淵, 毎田, 鏡, 小西	女性発達看護学特論	田淵, 毎田, 鏡 5208	女性発達看護学特論	田淵, 毎田, 鏡 5208		
	看護科学	量子					血液免疫病態学特論	森下, 関根, 片桐 5301	血液免疫病態学特論	森下, 関根, 片桐 5301		
		医療科学	病理		医用工学特論	北村, 関根, 吉住 5301						
	リハビリテーション科学	理学										
		作業										
	金	GS・専攻共通	理学療法学研究方法論 (第10)	稲津, 浅井, 山崎, 山下, 三秋, 横川, 田中, 松崎, 関所 2314					理学療法学研究方法論 (第10)	稲津, 浅井, 山崎, 山下, 三秋, 横川, 田中, 松崎, 関所 2314		
			慢性・終末期看護技術学特論	稲垣, 柳原, 藤野, 多崎 5209					慢性・終末期看護技術学特論	稲垣, 柳原, 藤野, 多崎 5209		
領域共通		臨床										
		健康	助産学実習Ⅱ (2年)	田淵, 毎田, 鏡, 小西	助産管理実習 (2年)	田淵, 鏡, 小西	公衆衛生・在宅看護学特論	塚崎, 表, 岡本(理), 京田, 坂谷 5208	公衆衛生・在宅看護学特論	塚崎, 表, 岡本(理), 京田, 坂谷 5208		
看護科学		量子	臨床画像技術学特論	川島(博), 小林(聡) 3107	分子イメージング学特論	小野口, 澁谷 3107	放射線画像構築学特論	市川, 岡本(博), 田中(利), 林, 川嶋(広) 3107	放射線画像構築学特論	市川, 岡本(博), 田中(利), 林, 川嶋(広) 3107		
		医療科学	病理		感染病原因子学特論	岡本(成), 杉谷 5301			感染病原因子学特論	岡本(成), 杉谷 5301		
リハビリテーション科学		理学										
		作業										

【注意事項】

- 1) 担当教員名の横の数字は、講義室等を表します。未記入の科目については、担当教員に確認してください。
- 2) 保健学専攻共通科目「臨床マネジメント演習」は、1~2年次に開講します。詳細は指導教員に確認してください。
- 3) 医療科学領域共通科目「医学物理学特論」は、E-learning形式で行います。詳細は放射 武村まで確認してください。
- 4) 「臨床マネジメント演習」は別途掲示する時間割番号を参照の上、履修登録をしてください。
- 5) 「臨床マネジメント病理演習」の履修希望者は事前に必ず担当教員に相談してください。詳細は後日連絡します。
- 6) 各分野開講の「課題研究(2年次担当科目)」の時間割については各指導教員と相談して決めてください。
- 7) 「助産学概論」「ローリスク助産診断学」「ハイリスク助産実践・応用学」「周産期助産診断学Ⅰ」「周産期助産診断学Ⅱ」についての詳細は指導教員に確認してください。
- 8) 「助産学実習Ⅰ」「助産学実習Ⅲ」「助産管理実習(田淵・毎田・鏡・小西)」は、集中で行います。詳細は担当教員に確認してください。
- 9) 時間割科目の※の科目は、同一週で分割して行う授業であり、単位の分割はできないので注意してください。

2019年度/後期 (第3Q, 第4Q) 保健学専攻授業時間割表 (博士前期課程)

曜日	領域	講義	1限	2限	3限	4限	5限	6限	7限	
			8:45 ~ 10:15 授業科目名・担当教員	10:30 ~ 12:00 授業科目名・担当教員	13:00 ~ 14:30 授業科目名・担当教員	14:45 ~ 16:15 授業科目名・担当教員	16:30 ~ 18:00 授業科目名・担当教員	18:10 ~ 19:40 授業科目名・担当教員	19:50 ~ 21:20 授業科目名・担当教員	
月	GS-専攻共通									
	領域共通									
	看護科学	臨床							慢性・終末期看護技術学演習 稲垣 柳原 藤野 多崎 5209	
		健康	助産学演習 田淵 毎田 鏡 5208		女性発達看護学演習 田淵 毎田 鏡 5208		出産教育・コンサルテーション 田淵 鏡 5208			
	医療科学	量子			放射線画像構築学演習 市川 岡本(博) 田中(利) 林 川嶋(広) 3107				臨床画像技術学演習 川島(博) 小林(聡) 3107	
		病理			臨床画像技術学演習 川島(博) 小林(聡) 3107				分子イメージング学演習 小野口 進谷 3107	
リハビリテーション科学	理学	機能回復学演習 浅井 山崎 横川 間所 講義室未定		感染病原因子学演習 岡本(成) 杉谷 講義室未定				感染病原因子学演習 岡本(成) 杉谷 講義室未定		
	作業									
火	GS-専攻共通					研究方法論(基礎) (第30) 岡本(成) 中谷 川井 小野口 北村 笠島 山崎 少作 4111	研究方法論(基礎) (第30) 岡本(成) 中谷 川井 小野口 北村 笠島 山崎 少作 4111			
	領域共通					研究方法論(臨床) (第40) 稲垣 表 加藤 塚崎 小林(聡) 稲津 浅井 菊池 4111	研究方法論(臨床) (第40) 稲垣 表 加藤 塚崎 小林(聡) 稲津 浅井 菊池 4111			
	看護科学	臨床			小児環境発達学演習 津田	精神看護学演習 河村 4305		精神看護学演習 河村 4305		
		健康	周産期助産診断演習Ⅰ 田淵 鏡 小西 5208	国際・比較助産実習 田淵 毎田 鏡 小西 5208	助産学実習Ⅰ(1年次) 田淵 毎田 鏡 小西			女性発達看護学演習 田淵 毎田 鏡 5208		
	医療科学	量子			生命情報処理学演習 稲津 本間 荒磯 講義室未定			生命情報処理学演習 稲津 本間 荒磯		
		病理			医用工学演習 北村 間根 古庄 5301			腫瘍分子生物学演習 本多 櫻井 尾崎 白崎 講義室未定	腫瘍分子生物学演習 本多 櫻井 尾崎 白崎	
リハビリテーション科学	理学						医用工学演習 北村 間根 古庄 5301			
	作業									
水	GS-専攻共通							医療統計学特論 井上 4108		
	領域共通					看護管理特論(第40) 田淵 稲垣 5208				
	看護科学	臨床								
		健康	国際・比較助産実習 田淵 毎田 鏡 小西 5208		助産学実習Ⅱ 田淵 毎田 鏡 小西 5208			小児環境発達学演習 津田		
	医療科学	量子			放射線治療安全技術学演習 武村 松原 5211			生体画像情報学演習 宮地 中山 大野 3107		
		病理			腫瘍分子生物学演習 本多 櫻井 尾崎 白崎 講義室未定					
リハビリテーション科学	理学	障害評価学演習 細 三秋 田中 松崎 講義室未定								
	作業					作業能力回復学演習※ 柴田 西村 杉原 中嶋 武田 2314		作業能力回復学演習※ 柴田 西村 杉原 中嶋 武田 2314		
木	GS-専攻共通									
	領域共通									
	看護科学	臨床				老年・リハビリテーション看護学演習 加藤 谷口 正源寺 4305		老年・リハビリテーション看護学演習 加藤 谷口 正源寺 4305		
		健康	周産期助産診断演習Ⅱ 田淵 毎田 鏡 小西 5208		助産学実習Ⅲ 田淵 毎田 鏡 小西 5208					
	医療科学	量子	分子イメージング学演習 小野口 進谷 3107					放射線治療安全技術学演習 武村 松原 5211		
		病理								
リハビリテーション科学	理学						機能回復学演習 浅井 山崎 横川 間所 講義室未定			
	作業					作業能力回復学演習※ 柴田 西村 杉原 中嶋 武田 2314	障害評価学演習 細 三秋 田中 松崎 講義室未定	作業能力回復学演習※ 柴田 西村 杉原 中嶋 武田 2314		
金	GS-専攻共通									
	領域共通									
	看護科学	臨床				慢性・終末期看護技術学演習 稲垣 柳原 藤野 多崎 5209	創傷看護技術学演習 大泉 須差 中谷 大員 4108, 3312	創傷看護技術学演習 大泉 須差 中谷 大員 4108, 3312		
		健康	助産管理学 田淵 鏡 5208	国際助産学 田淵 鏡 5208	助産管理実習(1年次) 田淵 鏡 小西	公衆衛生・在宅看護学演習 表 塚崎 岡本(理) 京田 板谷 5208	助産学実習Ⅲ 田淵 毎田 鏡 小西	公衆衛生・在宅看護学演習 表 塚崎 岡本(理) 京田 板谷 5208		
	医療科学	量子	生体画像情報学演習 宮地 中山 大野 3107		生体機能解析学演習 川井 小林(正) 3107			放射線画像構築学演習 市川 岡本(博) 田中(利) 林 川嶋(広) 3107		
		病理						生体機能解析学演習 川井 小林(正) 3107		
リハビリテーション科学	理学					血液免疫病態学演習 森下 嗣谷 片桐 講義室未定	血液免疫病態学演習 森下 嗣谷 片桐 講義室未定			
	作業	生体機能解析学演習※ 柴矢 少作 米田 菊池 2302		生体機能解析学演習※ 柴矢 少作 米田 菊池 2302			生体機能解析学演習※ 柴矢 少作 米田 菊池 2314			

【注意事項】

- 1) 担当教員名の横の数字は、講義室等を表します。未記入の科目については、担当教員に確認してください。
- 2) 保健学専攻共通科目「臨床心理学特論」(五十嵐)、「福祉行政学特論」(山下)、「医療経済学特論」(長友)は集中講義として行います。
【予定】「臨床心理学特論」→ 8/24 (土)、9/14 (土)、9/15 (日)、「福祉行政学特論」→ 9/13 (金)、9/14 (土)、9/15 (日)、「医療経済学特論」→ 8/31 (土)、9/1 (日)、9/7 (土)
- 3) 保健学専攻共通科目「臨床マネジメント演習」は、1~2年次に開講します。詳細は指導教員に確認してください。(時間割番号は別途掲示でお知らせする番号を登録してください。)
- 4) 保健学専攻共通科目「予防医学概論」(中村 宮地)は、集中講義として、医学類棟及び保健学類棟で行う予定です。詳細は9月頃、掲示で通知します。
- 5) 保健学専攻共通科目「保健学研究方法論Ⅰ」は、集中講義として行う予定です。詳細は担当教員に確認してください。
- 6) 医療科学領域共通科目「医学物理学特論」は、E-learning形式で行います。詳細は放射 武村まで確認してください。
- 7) 「細胞診断学演習」の詳細は後日掲示で通知します。
- 8) 「出産教育・コンサルテーション」「助産管理学」「周産期助産診断演習Ⅰ」「周産期助産診断演習Ⅱ」についての詳細は、指導教員に確認してください。
- 9) 「周産期助産診断演習Ⅰ」(田淵・鏡・小西)「周産期助産診断演習Ⅱ」(田淵・毎田・鏡・小西)は、1年次前期から1年次後期にかけて行います。詳細は担当教員に確認してください。
- 10) 「助産学実習Ⅰ」「助産学実習Ⅱ」「助産学実習Ⅲ」(田淵・毎田・鏡・小西)、「助産管理実習」(田淵・鏡・小西)は、集中形式で行います。詳細は担当教員に確認してください。
- 11) 時間割科目の※の科目は、同一週で分割して行う授業であり、単位の分割はできないので注意してください。
- 12) 看護科学領域共通科目「看護管理特論」(第4Q)は集中講義として行います。詳細は後日掲示します。

保健学専攻博士前期課程の研究指導等について

1. 研究指導体制について

研究指導の充実を図るために複数教員による研究指導を行います。

1) 研究指導グループ

- ① 研究指導グループは、主任指導教員1名、副指導教員1名以上および研究連携協力教員1名の合計3名以上で構成されます。(親族を主任指導教員にすることはできません。)
- ② 研究指導グループの編成は、教務委員会が調整し、博士課程委員会で決定されます。
- ③ 指導教員が転出等で不在となったときにも、学生の研究計画遂行に支障を及ぼさないように速やかに後任者を定めて補充するように配慮されます。

2) 主任指導教員

- ① 主任指導教員は、履修計画の作成、研究計画の立案、研究の遂行、学位論文の作成、学位請求などの指導を行います。
- ② 主任指導教員が指導する学生数については、実質的かつ十分な研究指導が可能であることを考慮します。

3) 副指導教員

- ① 副指導教員は、研究計画、研究進捗状況、学位論文についての助言などの指導を主任指導教員と協力して行います。
- ② 学生は主任指導教員と相談の上、副指導教員を選んでください。主任指導教員は、学生が研究計画を遂行する上で適切な副指導教員を選ぶように指導します。

4) 研究連携協力教員

- ① 研究連携協力教員は、他の指導教員や学生に対し、研究指導環境全体に関する相談、助言を行います。
- ② 学生は主任指導教員と相談の上、研究連携協力教員を選んでください。主任指導教員は、適切な研究連携協力教員を選ぶように指導します。

2. 研究指導および学位請求手続き

所定の年限(標準修業年限2年)で修了するための研究指導および学位請求のスケジュールは以下の通りです。

- ① 主任指導予定教員に対し副指導教員および研究連携協力教員の推薦を依頼し、その結果を院生カルテの指導教員欄および研究連携協力教員欄に記入し、副指導教員および研究連携協力教員の承認印を受けた後、指定された期日までに教務委員会へ提出してください。
- ② 指導教員の指導のもとに授業科目履修計画を作成し、指定された期日までに教務委員会へ提出してください。
- ③ 指導教員の助言を受け研究計画を立案してください。研究課題を院生カルテに記入し、指定された期日までに教務委員会へ提出してください。

- ④ 研究計画に従って研究を遂行してください。研究計画に大きな変更があった場合には、指導教員に報告してください。
- ⑤ 倫理審査が必要な研究内容の場合は、指導教員と相談の上、倫理審査委員会に審査を申請してください。
- ⑥ 研究成果を指導教員の指導の基に学位論文としてまとめてください。
- ⑦ 博士前期課程の学位請求に関する細則（後述）に従って、期日までに学位請求手続きを行ってください。
- ⑧ 学位論文の審査および口述による最終試験を行います。
- ⑨ 単位修得状況および最終試験の結果に基づき博士課程委員会で最終審査が行われます。合格した場合は、博士前期課程を修了するとともに修士（保健学）の学位が授与されます。

3. 早期修了

博士課程委員会が特に優れた業績を上げたと認めたものについては1年以上在学すれば修了することができます。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程の履修方法に関する細則

(趣旨)

第 1 条 医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程の履修方法に関しては、金沢大学大学院学則、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程（以下「研究科規程」という。）に定めるもののほか、この細則の定めるところによるものとする。

(履修方法)

第 2 条 研究科規程第 20 条 3 項に定める 30 単位（看護科学領域助産学分野を除く）は次の区分（別表 1）により、履修しなければならない。

(1) 必修科目

- ア 大学院 GS 科目「研究者倫理」1 単位を修得する。
- イ 大学院 GS 科目「保健学研究概論」、「研究方法論（基礎）」、「研究方法論（臨床）」、「科学英語」から 2 科目 2 単位を修得する。
- ウ 所属する領域が開講する共通科目から 1 科目 1 単位を修得する。
- エ 所属する大講座の科目から 2 科目 12 単位（特論 2 単位・課題研究 10 単位）を修得する。
- オ 所属する大講座の演習科目から 1 科目 4 単位（臨地マネジメント演習を含む）を修得する。

(2) 選択科目

- ア 保健学専攻が開講する科目、または医薬保健学総合研究科の他の専攻が開講する大学院 GS 科目から 3 科目以上・10 単位を修得する。
- イ 学生は本研究科の他の専攻、および本学の他の研究科の授業科目を履修することができる。ただし、各専攻長、各研究科長の許可を受ける必要がある。修得した単位は教授会の議に基づき、保健学専攻の選択科目単位の一部として認定することができる。

2 研究科規程第 20 条第 3 項に定める 59 単位（看護科学領域助産学分野）は次の区分（別表 2）により履修しなければならない。

(1) 必修科目

- ア 大学院 GS 科目「研究者倫理」1 単位を修得する。
- イ 大学院 GS 科目「保健学研究概論」、「研究方法論（基礎）」、「研究方法論（臨床）」、「科学英語」から 2 科目 2 単位を修得する。
- ウ 看護科学領域が開講する共通科目から 1 科目 1 単位を修得する。
- エ 助産学分野の科目から「助産学特論」2 単位、「助産学課題研究」10 単位を修得する。
- オ 助産学分野の演習科目から「助産学演習」4 単位を修得する。
- カ 助産学分野専門科目（指定規則）12 科目 29 単位を修得する。

(2) 選択科目

保健学専攻の大学院 GS 科目，保健学専攻共通科目，看護科学領域共通科目または女性・小児環境発達学分野の科目「女性発達看護学特論」，助産学分野の科目「国際・比較助産実習」から 3 科目以上・10 単位を修得する。

(教育課程に関する審議)

第 3 条 学位授与に関する審議は，博士課程委員会で行う

(論文作成・研究指導体制・学位請求手続き)

第 4 条 論文作成，研究指導体制，学位請求手続き等に関する事項は，別途定めるものとする。

(補則)

第 5 条 この細則の改正には，博士課程委員会委員の 2 分の 1 以上の同意を要する。

附 則

- 1 この細則は，平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 17 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は，平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 19 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は，平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 25 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は，平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 27 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は，平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年 3 月 31 日に在学する者については，なお従前の例による。

別表 1

博士前期課程

区 分	履 修 科 目	単 位 数	
必 修	大学院 GS 科目「研究者倫理」	1 科目	1 単位
	大学院 GS 科目「保健学研究概論, 研究方法論 (基礎), 研究方法論 (臨床), 科学英語」から	2 科目	2 単位
	所属する領域の共通科目から	1 科目	1 単位
	所属する大講座の科目から (特論 2, 課題研究 10)	2 科目	12 単位
	所属する大講座から演習科目 (臨地マネージメント演習を含む)	1 科目	4 単位
選 択	保健学専攻の開講科目, または本研究科の他専攻の大学院 GS 科目から 他専攻, または他研究科の開講科目は各専攻長, 各研究科長の許可により可能	3 科目以上	10 単位
合 計			30 単位

別表 2

看護科学領域助産学分野

区 分	履 修 科 目	単 位 数	
必 修	大学院 GS 科目「研究者倫理」	1 科目	1 単位
	大学院 GS 科目「保健学研究概論, 研究方法論 (基礎), 研究方法論 (臨床), 科学英語」から	2 科目	2 単位
	看護科学領域の共通科目から	1 科目	1 単位
	助産学分野の科目から (特論 2, 課題研究 10)	2 科目	12 単位
	助産学分野の演習科目から	1 科目	4 単位
必 修	助産学分野専門科目 (指定規則) (助産学概論 2, ローリスク助産診断学 2, ハイリスク助産実践・応用学 2, 国際助産学 1, 出産教育・コンサルテーション 2, 助産管理学 2, 周産期助産診断演習 I 2, 周産期助産診断演習 II 4, 助産学実習 I 4, 助産学実習 II 4, 助産学実習 III 2, 助産管理実習 2)	12 科目	29 単位
選 択	保健学専攻の大学院 GS 科目, 保健学専攻共通科目, 看護科学領域共通科目または女性・小児環境発達学分野の科目「女性発達看護学特論」, 助産学分野の科目「国際・比較助産実習」から	3 科目以上	10 単位
合 計			59 単位

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程学生の
学位請求に関する細則

(趣旨)

第1条 医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程(以下「前期課程」という。)の学位授与に関しては、金沢大学大学院学則、金沢大学学位規程、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程によるもののほか、この細則による。

(学位論文の提出資格)

第2条 前期課程に2年以上在学し、研究科規程に定める30単位以上を修得した者は、学位論文を提出することができる。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げ、博士課程委員会の審査に合格した者は、1年以上在学すれば論文を提出することができる。

(学位論文提出者の提出資格認定)

第3条 学位論文提出者の資格は、主任指導教員の確認により博士課程委員会委員長が認定する。前条に定めた学位論文提出資格者は、学位論文1編を提出し、博士課程委員会に諮り認定する。

(学位論文の提出)

第4条 学位論文の審査を願い出る者は、下記の書類を添えて、保健学務係へ提出する。

(1) 学位論文(1部)

論文審査願(指定用紙)

論文目録(指定用紙)

履歴書(指定用紙)

論文要旨(A4用紙で和文にて2,000字以内)

英語外部検定試験スコア(写し)(英語外部検定試験に関し必要な事項は、別に定める。)

(2) 提出期限は1月第3週金曜日(当日が祭日の場合は前日)とする。ただし、秋季修了者については、7月第4週金曜日(当日が祭日の場合は前日)とする。

(論文の審査)

第5条 受理した学位論文の審査は下記の要領で行う。

(1) 学位論文の審査及び最終試験は、2月末日までに終了するものとする。秋季修了者については8月末日までに終了するものとする。

(2) 学位論文の審査員は、博士課程委員会で承認された主査(原則として主任指導教員)と副査1名以上とする。

(3) 学位請求者の親族は、当該学位審査の主査になれない。

- (4) 審査員に不測の事態が生じ、審査が不可能となった場合、保健学専攻長が代替りの審査員を指名する。
- (5) 主査は、1,000字以内の論文内容の要旨及び審査結果の要旨を作成し、博士課程委員会にて報告する。
- (6) 最終試験の方法は、審査員全員が合同し、口頭試問により行う。なお最終試験は公開とし、審査員以外の医薬保健学総合研究科教員、大学院生並びに医学研究に携わる関係者が出席して発言することができる。
- (7) 判定は、審査員全員が適格と認めたものを合格とし、一致をみなかったものを不合格とする。

(学位授与に関する審議)

第6条 学位授与に関する審議は、本学学位規程第12条により博士課程委員会にて行う。審議には、博士課程委員会構成員の3分の2以上の出席を必要とし、出席した構成員の3分の2以上の多数をもって決するものとする。

(補則)

第7条 本細則の改正には、博士課程委員会の3分の2以上の同意を要する。

附則

この内規は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この細則は、平成20年10月1日から施行する。

附則

この細則は、平成26年8月6日から施行する。

附則

この細則は、平成28年2月3日から施行する。

附 則

- 1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期課程）学生の早期修了に係る申合せ

平成22年6月2日 博士課程委員会承認

（趣旨）

- 1 この申合せは、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程第20条第3項ただし書に規定する優れた業績を上げた者に係る、保健学専攻における在学期間の短縮による課程の修了（以下「早期修了」という。）に関し、対象者の要件及び資格審査に必要な提出書類等について必要な事項を定めるものである。

（早期修了対象者の要件）

- 2 早期修了において、医薬保健学総合研究科規程第20条第3項ただし書きに規定する「優れた業績を上げた」とは、次に掲げる要件にすべて該当する状況をいう。

（ア）学位論文以外の論文（以下「参考論文」という。）が1編以上あること。

ここにおいて参考論文とはレフェリー付きジャーナルに掲載（あるいは掲載決定）された、学生本人が中心になってまとめた筆頭論文を指す。研究業績の一部は大学院在学中に行われたものでなければならず、参考論文には原則として申請者の所属が本学と明記されていなければならない。

（イ）博士前期課程を優秀な学業成績で終えること。

（提出書類及び提出期限）

- 3 （1）早期修了による学位請求の資格審査を願い出る者は、以下に示す書類を添えて保健学専攻長（提出先：保健学務係）へ提出する。

（ア）早期修了審査願（様式1）

（イ）研究成果要旨（A4版 様式任意）

（ウ）論文目録（様式2）

（エ）参考論文（各3部）

（オ）履歴書（様式3）

（カ）早期修了対象者推薦書（様式4）

- （2）資格審査にかかる提出書類の提出期限は、3月修了（在学期間1年）を希望する場合は前年12月第1週金曜日とする。9月修了（在学期間1年6か月）を希望する場合は6月第4週金曜日とする。

（資格審査方法）

- 4 （1）専攻長は、早期修了による学位請求資格の有無について審査するため、申請者ごとに予備審査委員会を設ける。

（2）予備審査委員会委員は専攻長が指名する学位論文審査員を含む委員長1名、委員1名

以上をもって構成するものとする。ただし、参考論文の共著者は委員長になれない。

- (3) 予備審査委員会は、原則として学位請求論文提出期限の1週間前（当日が祝祭日の場合はその翌日以降の平日）までに審査を終了した上で、「早期修了予備審査結果報告書」（様式5）を作成し、専攻長（提出先：保健学務係）に審査結果を報告する。
- (4) 学位論文提出者の資格は、予備審査委員会の報告をもとに、博士課程委員会が認定する。なお、認定には出席した博士課程委員会構成員の3分の2以上の賛成を要するものとする。

附 則

この申合せは平成22年6月2日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻における長期履修に関する申合せ
(平成28年3月2日医薬保健学総合研究科保健学博士課程委員会承認)

1. 趣旨

この申し合せは、金沢大学学則第58条及び金沢大学大学院学則第27条の規定に基づく、金沢大学長期履修の取扱いに関する規程に定めるもののほか、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻（博士前期・後期課程）における長期履修に関し、必要な事項を定める。

2. 対象となる学生

次の各号の一に該当する者で、金沢大学大学院学則第6条に規定する標準修業年限内での修学が困難な事情にある者とする。ただし、在学者にあつては、修了予定年次の者を除く。

- (1) 入学時及び在学時において社会人有職者で、職務上の事情により、著しく学修時間の制約を受ける者
- (2) 育児、介護等に従事している者で、その事情により著しく学修時間の制約を受ける者

3. 長期履修の申請

長期履修を希望する者は、指導（予定）教員の承認を得て研究科長に提出するものとする。

4. 長期履修の許可期間

博士前期課程及び博士後期課程においては、在学年限の範囲内で年又は学期単位で認める期間とする。

5. 申請期間

- (1) 社会人選抜での入学予定者は、入学手続き期間内に長期履修申請書を提出するものとする。
- (2) 在学学生で対象となる者は、2月末日又は8月末日までに長期履修申請書を提出するものとする。

6. 証明書類

- (1) 有職者
所属長が発行する承諾書
ただし、以前に提出済の者は、不要
- (2) 育児、介護等に従事している者
上記に従事していることの証明書等又は申立書

7. 長期履修の短縮手続き

長期履修を許可された者が、在学期間を短縮しようとするときは、指導教員の承認を得て長期履修短縮申請書を研究科長に提出するものとする。

8. 長期履修の短縮の申請期間

9月修了希望の場合は前年度の2月末日，3月修了希望の場合は8月末日とする。

9. 長期履修の開始日及び短縮の開始日

各学期の始めとする。

10. 長期履修に関する事で，上記以外に関わる事項については，教務委員会で審議の上，医薬保健学総合研究科保健学博士課程委員会の議を経て決定するものとする。

附 則

この申し合せは，平成16年4月1日から施行する。

附 則

この申し合せは，平成26年8月6日から施行し，平成26年4月1日から適用する。

附 則

この申し合せは，平成28年3月2日から施行し，平成28年4月1日から適用する。

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程における英語外部検定試験について

平成30年度の医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程入学者から、学位論文の提出時(学位論文の審査を願い出る時)に、英語外部検定試験のスコア(写し)が必要となる。【保健学専攻(博士前期課程)学生の手引「学位請求に関する細則」参照】詳細は以下のとおり。

1. 英語外部検定試験の受験時期

医薬保健学総合研究科保健学専攻博士前期課程入学日から、博士前期課程学位論文提出までの期間とする。

なお、学位論文の審査を願い出る際の提出期限は、1月第3週金曜日(当日が祭日の場合は前日)とする、ただし、秋季修了者については、7月第4週金曜日(当日が祭日の場合は前日)とする。

2. 英語外部検定試験の対象

①～⑤のいずれかを受験するものとする。

①TOEIC

②TOEIC-IP

③TOEFL

④IELTS

⑤GTEC

3. 受験免除者

①、②の該当者については、英語外部検定試験の受験を免除するものとする。

①提出日から2年以内のTOEIC 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点、IELTS 6.0以上のスコアを持つ者

②英語母語話者

ここでは、一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者をいう。

【英語を公用語とする国一覧】

アイルランド、アメリカ、アンティグア・バーブーダ、イギリス、イスラエル、インド、ウガンダ、エリトリア、オーストラリア、ガイアナ、ガーナ、カナダ、カメルーン、ガンビア、キリバス、クック諸島、グレナダ、ケニア、サモア、ザンビア、シエラレオネ、ジャマイカ、シンガポール、ジンバブエ、スーダン、スワジランド、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント・グレナディーン、セントルシア、ソマリランド、ソロモン諸島、タンザニア、ツバル、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、トンガ、ナイジェリア、ナウル、ナミビア、ニウエ、ニュージーランド、パキスタン、バヌアツ、バハマ、パプアニューギニア、パラオ、バルバドス、フィジー、フィリピン、ベリーズ、ボツワナ、マーシャル諸島、マラウイ、マルタ、ミクロネシア連邦、南アフリカ、南スーダン、モーリシャス、リベリア、ルワンダ、レソト

主任指導教員印

授業科目履修計画表

入学年度	2019 年度
医薬保健学総合研究科保健学専攻	博士前期課程
領域名	領域
教育研究分野	分野
学籍番号	
氏名	(一般・14条適用)

受講時期		時間割 番号	授業科目	単位数	担当教員名	備考
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					
年度	前期・後期・第1Q・ 第2Q・第3Q・第4Q					

※修了するまでに受講を希望する科目をすべて記載すること

※この計画表は指導教員と修了までの履修計画を確認するためのものです。別途アカンサスポータルで必ず履修登録をしてください。

院生カルテ(教育・研究指導確認簿): 博士前期課程

半期毎に(各学期末までに)主任指導教員が学務に提出する。

1. 入学時記入欄(注1)

領域名		入学年月	2019年4月
教育研究分野		指導教員	主任指導教員 印
学籍番号			副指導教員 印
学生氏名			副指導教員 印
			研究連携協力教員 印
研究題目			

(注1) 指導教員の確認を得た上で学生が記入する。

副指導教員は1名ないし2名。

2. 履修状況など(注2)

確認項目	○記入欄	日付	印(サイン)
授業科目履修計画表を提出しましたか。			
規定に定める30単位以上を登録しましたか。			
規定に定める30単位以上を修得しましたか。			
看護科学領域(助産学分野) 規定に定める59単位以上を登録しましたか。			
看護科学領域(助産学分野) 規定に定める59単位以上を修得しましたか。			
入学後に英語外部検定試験を受験しましたか。 (TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL, IELTS, GTEC)			
長期履修申請者	長期履修期間 (年 か月) 年 月 ~ 年 月		
14条特例申請者	年 月から適用		
倫理審査が必要な研究の場合	倫理審査申請を提出しましたか。		
	承認されましたか。		

(注2) 学生または主任指導教員が記入する。

該当する項目に○を付け、○を付けた日付を記入し、記入者の印を押す(サインも可)。

3. 研究指導など（注3）

年 (西暦)	学期 (注4)	在学状況 (注5)	コメント等 (研究や論文作成の進行状況など)	確認欄		
				学生	教員	領域長
2019	前期					
	後期					
2020	前期					
	後期					
2021	前期					
	後期					
2022	前期					
	後期					
2023	前期					
	後期					
2024	前期					
	後期					

(注3) 学生または主任指導教員が記入し、学生と主任指導教員の両方が押印する（サインも可）。

(注4) 前期は4月～9月、後期は10月～3月。

(注5) 在学の場合は空欄。休学の場合は「休学」と記載。休学の場合は学生の確認印は不要。

学修関係について

① 【重要】保健学務係からの連絡事項について(掲示板)

保健学務係からの連絡事項は基本的に掲示板を通じて行います。
保健学専攻ではアカンサスポータル(後述)の「お知らせ」に連絡事項を掲示しています。アカンサスポータルは、研究室はもちろん職場・自宅のパソコン、スマートフォンでも確認することができますので、見落としの無いようにこまめに確認してください。

保健学類1号館2階の掲示板にも同様のお知らせを掲示しています。
(奨学金等は掲示板に掲示してあります。)

② 【重要】履修登録について

大学院博士前期課程を修了するには、学位論文を執筆することはもちろん、所定の単位を修得しなくてはなりません。そのためには毎学期、指定する期間内にインターネット(アカンサスポータル)を利用して履修する科目の登録が必要です。登録可能期間については別途掲示を必ず確認してください。
登録方法については、「**大学院便覧116頁**」を参照してください。

- ※ 後期(10月～)(第3クォーター, 第4クォーター含む)に開講される科目を前期(4月～)に登録することは出来ませんが、その逆は出来ません。登録漏れのないよう注意してください。
- ※ **各分野の開講する「課題研究」も含め**開講される科目についてはすべて履修登録が必要です。

【重要】履修科目の登録後、単位認定を希望するすべての科目が登録されているか、履修登録状況を確認してください。訂正がある場合は、登録時と同様に期間内にアカンサスポータルから訂正してください。

(参考)2019年度の履修手続きについて

(申請期間は年度により異なります。必ず毎学期、掲示にて確認してください)

【前期】(第1クォーター, 第2クォーター含む)

- ・ 4月8日(月)7時～4月24日(水)18時 授業科目の履修登録期間
- ・ 4月26日(金)～ 確定した履修登録状況を確認及び印刷することが出来る期間

【後期】(第3クォーター, 第4クォーター含む)

- ・ 10月1日(月)7時～10月17日(木)18時 授業科目の履修登録期間
- ・ 10月18日(金)～ 確定した履修登録状況を確認及び印刷することが出来る期間

③ アカサポータルについて(重要)

本学ではICT教育の効果的な実践・活用をはかるため、ポータルサイト「アカサポータル (<https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/>)」を運用しています。

ポータルサイトには掲示板機能(お知らせ), LMS(学習管理システム), よく使用するサイトのリンク等多彩な機能を有しています。特に掲示板機能の「お知らせ」には履修や成績に関する事務連絡, 修了や学位論文, 奨学金, 授業料免除申請等に関する事など重要な情報を掲示しますので, こまめに確認するようにしてください (掲示見落としによる不利益は救済されません)。

同サイトへアクセスするためのID(金沢大学 ID)・パスワードはオリエンテーション時に配布します。アカサポータルサイトの機能, 使用方法等については、「**大学院便覧129頁**」を参照してください。

マニュアルはログイン後に閲覧できます。(ログイン→「ヘルプ」から参照してください。)

④ 学修案内

(1) 学年・学期

保健学専攻の1年は4月1日に始まり, 翌年の3月31日に終わります。

この期間を2学期に分け前期(4月1日～9月30日), 後期(10月1日～3月31日)としています。

(さらに, 前期前半を第1クォーター, 前期後半を第2クォーター, 後期前半を第3クォーター, 後期後半を第4クォーターとしています。)

当該学期の講義開始日・行事日程等については年度初めに学年暦を掲示しますので, そちらで確認してください。実際の曜日とは異なる曜日の講義を開講する場合(曜日振替日)がありますので学年暦を参照してください。

(2) 授業時限

1時限	8:45～10:15	6時限	18:10～19:40 (14条特例適用者対象)
2時限	10:30～12:00	7時限	19:50～21:20(14条特例適用者対象)
3時限	13:00～14:30		
4時限	14:45～16:15		※6・7限の講義を受講する場合は, 「14条特例適用」
5時限	16:30～18:00		の申請が必要です。詳細は保健学務係まで

(3) 保健学専攻校舎について

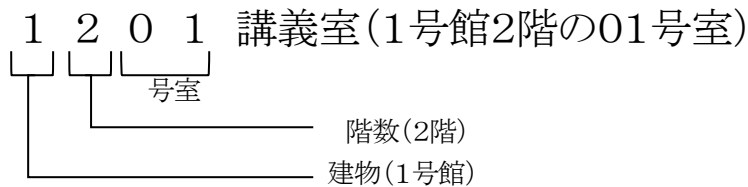
保健学専攻の校舎は平日の20時～翌朝7時までの間, 及び土日・祝日は玄関をロックして部外者の入館を制限しています。

時間外に校舎に入講する場合は, 学生証が入館カードキーとなりますので, 読み取り機にかざして入構してください。

保健学専攻校舎は1号館～5号館, 体育館, 福利施設(厚生会館・食堂)からなります。

(巻末のキャンパスマップを参照してください。)

また各講義室・研究室はそれぞれ4ケタの室番号がふられています。



⑤ 休学・退学について

休学(1か月以上の修学中止)または退学を希望する学生は、必ず主任指導教員に十分相談の上、所定の期日までに所定の用紙(保健学務係に備え付け)により願い出てください(病気の事由による場合は医師の診断書を添付してください)。提出期限については別途掲示によりお知らせします。

⑥ 経済支援について

本学の経済支援制度については以下のサイトを参照してください。

・<https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic>
『金沢大学 Web サイト』→『学生生活』→『経済支援』

(1) 授業料免除について

経済的な理由によって授業料の納入が困難な学生で、かつ学業成績優秀と認められる学生には選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除する制度があります。

授業料免除に関する事項はすべて掲示(掲示板, アカサポータル「お知らせ」)でお知らせします。申請期間を過ぎたものは受付できませんので、掲示等見落としの無いように注意してください。説明会、申請期間等スケジュールについても上記サイトで確認できます。

(2) 奨学金について

日本学生支援機構、都道府県・市町村、民間の育英団体のものなどがあります。

新たに日本学生支援機構奨学金を希望する学生は、毎年 4 月(詳細な日程は掲示でお知らせします)に実施する説明会に出席してください。

(3) 金沢大学学生特別支援制度

金沢大学独自の給付型奨学金制度です。

学生生活関係について

① 住所等の変更について

本人や父母等の住所・電話番号に変更があった場合は、すみやかにアカサポータルで変更手続きを行ってください。

また姓名に変更があった場合は、所定の手続きが必要になりますので保健学務係まで申し出てください。有職者で「大学院設置基準第14条に基づく特例」の適用を受けている学生で、勤務先に変更があった際は保健学務係まで申し出てください。

② 学内における駐車について

本キャンパスは駐車スペースが狭いため、自動車での通学は原則禁止されています。ただし、やむを得ない理由により自動車通学を希望する場合は所定の手続き(Webによる申請の後、**必要書類の持参が必要**です)により駐車許可を申請してください。

申請期間等詳細については4月上旬に掲示します。

駐車許可なく駐車した場合は厳重に処罰されます。

③ 学生生活に関する相談について

(1) 保健学専攻の学生相談室

保健学専攻では、1号館1階にある「なんでも相談室ーいいまっし」で学生生活一般に関する相談を受け付けています。相談員は、保健管理センターのカウンセラー及び保健学専攻の教員が交代で担当します。(以下、スケジュールは予定です。変更があれば掲示でお知らせします。)

相談日時 水曜日 11時～15時(保健管理センター カウンセラー)

予約電話番号: (076)264-5255

E-mail : hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

なお、保健学専攻の教員に相談することを希望する場合は、直接教員に連絡してください。教員の連絡先等詳細は、『金沢大学(医薬保健学域保健学類)Web サイト』→『在校生の皆さんへ』→『各種資料・手続き(共通)』→『いいまっし(保健学類・なんでも相談室)』で確認してください。

(2) ハラスメントについて

保健学専攻では、複数のハラスメント相談員がいます。被害にあった場合は、保健学務係の窓口を通じて相談するか、または直接相談員に相談してください。

その他、保健管理センターにも学生相談室があります。詳しくは 『金沢大学 Web サイト』→『在学生』→『学生相談窓口』→『きいつけまっし』→『心と身体の健康管理・悩み事』→『ハラスメント相談窓口』で確認してください。

※ 『きいつけまっし』の冊子版は入学時にも皆さんに配布しております。

(3) 保健管理センター宝町分室及び保健室について

①保健管理センター宝町分室について

宝町・鶴間キャンパスの学生のために、医学類F棟1階(パソコン実習室向い。後掲キャンパスマップ参照)に保健管理センター宝町分室があります。疾病の応急処置や健康相談にも対応します。

(医師は不在の場合もありますので、相談する際は事前に連絡してください。)

なお、学業、人間関係など一人で行き詰ったら、カウンセリングの予約もできますので、気軽に利用してください。

【開室時間】13時～17時 看護師が常駐しています。

【医師の診察・健康相談受付時間】14時～16時30分(火・水・金)

*ただし、変更になる場合があります。

【場所】医薬保健学域医学類F棟1階 (Tel076-265-2133)

②保健室について

保健学類 1 号館 1 階に保健室があります。簡単な応急処置ができるようになっているので、保健学務係に連絡の上利用してください。

④ 学生証について

学生証は本学大学院の学生であることを証明する『身分証明書』ですので、大事に取り扱ってください。

また、図書を借りるとき、証明書自動発行機 * を利用する際にも必要ですので常に携帯し、紛失しないでください。紛失・盗難にあった場合は、直ちに保健学務係まで申し出てください。再発行の場合は手数料2,100円が必要です。

その他、学生証には金沢大学生協で利用できる電子マネー機能、夜間・休日に建物に入棟するための入館キーの機能が備え付けられています。

※証明書自動発行機は保健学類 1 号館正面玄関に設置されています。学生証を使用して、JR 学割証、在学証明書等各種証明書を発行することができます。

ネットワーク関係について

① インターネット、電子メールの利用

各自でユーザーID(ネットワークID)の登録が必要です。「**ネットワークID**」を取得することで、金沢大学の全てのネットワーク関連サービスが受けられます。例えば、金沢大学キャンパス内でインターネット、無線LANを利用する際はネットワークIDによる認証が必要です。またネットワークIDを取得することによりメールアドレス(XX@stu.kanazawa-u.ac.jp)も付与されます。

ネットワークIDの登録はアカンサスポータルの「各種設定」内にある「統合アカウント管理システム」から登録してください(アカンサスポータルのログインに金沢大学IDが必要です)。

詳細は、「**大学院便覧130頁**」又は <http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/networkid/> を見てください。

② VPN の設定

総合メディア基盤センターの提供するVPNサービスを利用することにより、学外からでも学内と同じ環境で金沢大学のネットワークが利用できます(前述のネットワークIDが必要です)。

VPNサービスを利用することにより、学内限定で公開されているホームページや、**附属図書館の提供する電子ジャーナル、論文検索データベース(一部不可の物もあり)の利用が学外からでも可能になります。**

詳しくは、<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/vpn/> を見てください。電子ジャーナル等利用方法については後述の「図書室利用案内」も参照してください。

③ マイクロソフト包括ライセンスについて

本学はマイクロソフト社と包括ライセンス契約を締結しています。これにより本学に在籍するすべての学生はマイクロソフト社のWindowsとOfficeのライセンス料が無料(メディア代は別途要)となります。

制度の詳細や利用方法については <http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service/Mslicense/> を参照してください。

【保健学類図書室(保健学類3号館1階) 利用案内】

(1) 基本的な開室時間

曜日	講義期間中	休業期間中
月～金	8:45～22:00	*8:45～17:00
土	※10:00～17:00	—

※制限付き開室。(要学生証)

(2) 主な休室日

- ① 日曜日、国民の祝日（休業期間中は土曜日も休室）
- ② 12月28日～翌年1月3日
- ③ 夏季一斉休業日

詳細な開室日は図書館 Web サイト (<http://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/>) の開館カレンダーをご覧ください。

臨時休室日は、その都度ご案内します。

(3) 図書室利用心得

- ① 室内では静粛にし、私語は慎んで下さい。
- ② 図書室内ではフタの閉まる容器に入った飲み物を除いて、飲食を禁止しています。
- ③ 図書・雑誌等の図書資料は自由に閲覧できる開架方式です。閲覧後の資料は必ず元の位置に戻して下さい。

(4) 蔵書冊数および雑誌種類数

(平成30年3月末現在)

区分	図書	雑誌
和	35,507冊	706種
洋	8,998冊	254種
計	44,505冊	960種

*消耗品図書は上記表に含まれていません。

(5) 貸出と返却

- ① 学生証が「図書館利用券」となりますので、必ず持参して下さい。
- ② 図書、製本雑誌（バーコード貼付）の貸出は、学生証を使って自動貸出返却機で手続きして下さい。返却もできます。（返却には、学生証はいりません。）
- ③ 未製本雑誌、バーコードのない図書、付録付き資料、視聴覚資料の貸出は、係員がいたします。貸出には学生証の提示が必要ですが、返却はカウンターに図書等をご持参ください。
- ④ 更新（貸出期間の延長）は、図書についてのみできます。自動貸出返却機で更新できない場合は係員がいたします。
- ⑤ 返却期限を過ぎても図書を返却されない場合、遅れた日数分（最長1ヶ月）貸出停止期間となります。
- ⑥ 閉室時の返却は、ブックポストをご利用ください。
- ⑦ 借用資料（図書・未製本雑誌・製本雑誌等）の破損・汚損・紛失は、弁償の対象になりますので丁寧にご利用ください。
- ⑧ 視聴覚資料については、室内でも視聴することができます。係員に尋ねてください。

(6) 貸出冊数と貸出期間

区分	一般図書	製本雑誌	参考図書	未製本雑誌	視聴覚資料
冊数	6冊	3冊	—	3冊	3点
期間	14日※	7日	室内のみ	翌日返却	7日

※更新(延長)は1回まで

(7) 図書室内での複写機の利用について

図書・雑誌の記事については、著作権の遵守が求められていますので、「文献複写申込書」に複写される図書の書名及び雑誌名等を記入してから複写して下さい。複写機の利用には、生協販売のコピーカードが必要です。

(8) 他大学の図書館利用について

紹介状や事前の照会が必要な場合があります。カウンターまでお問い合わせ下さい。

(9) AVコーナーについて

図書室備付の視聴覚資料をAVコーナーで視聴することができます。利用する際はカウンターで手続きをして下さい。

(10) グループ学習室について

図書室資料を使った小グループの研究・学習のための部屋です。利用する際はカウンターで予約手続きをして下さい。

(11) Web サイト

Web サイトから、学習・研究に必要な電子ジャーナルやデータベースを利用できます。
<http://library.kanazawa-u.ac.jp/mhslib/>

① OPAC plus 検索 (金沢大学の蔵書, 電子ジャーナル, 電子ブックを検索)

タイトル, ISBN 等から金沢大学で所蔵している図書, 雑誌, 視聴覚資料等を検索できます。検索結果画面で, 所在および請求記号を確認してください。図書室資料の場合, 所在表示は「保健図書室」または「保健図雑誌」となっています。保健看護, 保健放射などは研究室を表します。検索の結果, 図書室の図書が貸出中のときは, 返却後に優先的に借用できるように, 予約することができます。

電子ジャーナル, 電子ブックは検索結果からサイトへリンクされます。

② 電子ジャーナルリスト検索

金沢大学では, 多くの電子ジャーナルを契約しており, 学内ネットワークに接続されたPCから利用できます。検索結果から電子ジャーナルのサイトへリンクされますので, 巻号等で目的の論文を絞り込んでください。

③ データベース検索 (学術雑誌に掲載された論文の検索)

学内ネットワークに接続されたPCから, 文献検索データベース「医中誌 Web」「PubMed」「CINAHL」「SCOPUS」等を使って, 学術論文を検索できます。

④ オンラインサービス（学外からも利用できます）

図書館 Web サイトの「オンラインサービス」からログインすると、以下のサービスが利用できます。（金沢大学 ID（アカンサスポータルの ID）が必要です）

1) 「ILL文献複写・図書貸借申込」

学外（他大学など）および角間地区にある雑誌等の複写物の取寄せや、図書の現物借用の申込ができます。

複写取寄せでは、複写料（学内の場合20円/枚（モノクロ）、学外の場合およそ35～50円/枚（モノクロ））と送料を負担いただきます。

図書の現物借用は、学内の場合は無料ですが、学外の場合は往復の送料を負担いただきます。

2) 「貸出予約状況確認」

借りている資料の返却期限日を確認できます。図書の貸出更新（延長） 手続もここからできます。

3) 「図書リクエスト」

図書室に置いてほしい本のリクエストができます。学習・研究支援のために購入しますが、既に学内の図書室以外の場所にある場合は、1)の「ILL文献複写・図書貸借申込」から借用申込をしてください。

(12) その他

① 学術論文の入手まで

論文の収録誌が不明な場合は、データベースを使って、収録雑誌名、巻号 (Vol. No.)、ページを調べます。保健学分野では、国内雑誌の論文なら医中誌 Web や CiNii、海外雑誌の論文なら PubMed や CINAHL（看護学分野）がよく使われます。

収録誌が分かったら **OPAC plus** 検索で電子ジャーナルか、雑誌の所蔵を探します。雑誌（冊子）の場合は目的の巻号の有無と所在場所を確認してください。

目的の雑誌が角間地区などの直接利用できない場所にあたり、金沢大学に所蔵されていない場合は、文献複写申込をして論文のコピーを取寄せることができます。（11）④のオンラインサービスを参照ください。

② 電子ジャーナル、データベースの学外（自宅など）からの利用について

金沢大学が契約している電子ジャーナル、データベースは、通常、学内のネットワークに接続された PC からのみ利用できるようになっています。社会人院生の方など、学外からの利用を希望される場合は、以下のサイトで紹介している方法をお試しください。

https://library.kanazawa-u.ac.jp/?page_id=18287#out_campus

③ 無償公開されてる論文について

近年、インターネット上に無償で公開される論文が多くなってきています。国内の場合、多くは大学の発行する紀要（誌名に大学名を含むことが多いです）とよばれる雑誌の論文です。

以下のサイトではそれらの中から論文をまとめて検索することができます。本学の電子ジャーナルリストに含まれていない雑誌の論文が入手できることがあります。

学術機関リポジトリポータル JAIRO <http://ju.nii.ac.jp/>

④ データベース検索からの電子ジャーナル利用について

データベースで論文を検索すると、下図のようなバナーが表示されることがあります。これらをクリックすると、電子ジャーナルリスト検索やOPAC検索をすることなく、簡単にPDFで論文を読めることが多く便利です。(金沢大学で契約している電子ジャーナルの論文や無償公開されている論文の場合)

医中誌 Web では



PubMed では



保健学類図書室 フロアマップ



保健学類図書室は3号館1階にあります。

保健学類図書室 電話番号：076-265-2518

E-mail: htosho@adm.kanazawa-u.ac.jp

【医学図書館 利用案内】

(1) 開館時間

平日（月～金曜）	8：30～22：00
土曜	10：00～16：00(17:00)※

※閉館時間は月によって異なります。

医学図書館 Web サイトにある開館スケジュールで確認してください。

医学図書館 Web サイト <http://library.kanazawa-u.ac.jp/mlib/>

(2) 休館日

- ① 日曜日、国民の祝日
- ② 12月28日～1月3日
- ③ 夏季一斉休業日

その他必要のある場合は、臨時に開館・閉館することがあります。

(3) 利用できる資料

主に医学系図書、参考図書（辞典など）、視聴覚資料、雑誌が配架されています。図書は、請求記号順、雑誌は、ABC順に配架されています。

・配架場所は次のとおりです。

- | | |
|--------------|---|
| 1階（閲覧エリア） | 医学系図書、参考図書（辞典など）、視聴覚資料(DVD) |
| 2階（オープンスタジオ） | 新着の購読雑誌 |
| 3階（書庫） | 利用頻度の低い図書（OPAC plus では別置4）、古い和雑誌
※一部未整備のため、立ち入りできない箇所あり。 |
| 4階（書庫） | 雑誌（製本雑誌含む） |

(4) 貸出冊数と貸出期間

区分	一般図書	製本雑誌	未製本雑誌	基本書・参考図書	視聴覚資料
冊数	5冊	6冊	3冊	—	2点
期間	14日※	7日	翌日返却	館内のみ	7日※

※更新（延長）は1回まで

貸出返却の手続きは、保健学類図書室と同様です。

閉館時返却用のブックポストは入口付近に設置してあります。

(5) 視聴覚ブース（1階）

図書館備付の視聴覚資料を視聴することができます。

(6) 複写機の利用について

1階サービスカウンター前にコピー機が2台置いてあります（モノクロ専用でコイン式とカード式、各1台）。2階十全記念スタジオ前にカラー対応コピー機（カード式）が1台あります。

保健学類図書室と同様に「文献複写申込書」を記入してから複写してください。

(7) 閲覧エリア（1階）

閲覧席24席とカウンター席18席があります。無線LANも利用できます。

車椅子用のテーブルもあります。

(8) ラーニング・コモンズ（1階、2階）

1階にはブックラウンジがあり、事前に予約すれば、イベントにも使用できます。

また、ここには、新聞、テレビ、自販機が置いてあります。

2階には、次のオープンスタジオ、グループスタジオ、十全記念スタジオがあります。

【オープンスタジオ】

以下の設備があり、無線LANも利用できます。

- ・パソコン（シンクライアント）24台
 - ・自由に組み合わせ可能なテーブルと椅子（36席）、ホワイトボード
- また、奥には、新着雑誌コーナー（閲覧席6席）があります。

【グループスタジオ】※要予約（(9)施設のネット予約参照）

- ・4部屋とも8席用で、自由に組み合わせができるテーブルがあります。

【十全記念スタジオ】

- ・2人用テーブルと椅子（56席）があります。
- ・講習会、講演会などのイベントで使用したいときは、事前に申し込む必要があります。詳細は医学図書館職員にお問い合わせください。

(9) 施設のネット予約

1階に研究個室が4部屋、2階にグループスタジオが4部屋あります。

図書館のWebサイトにある「図書館オンラインサービス」にログインし、「施設の予約」より事前に予約のうえご利用ください（要金大ID）。

(10) 自習室（2階）

E棟2階の連絡通路（またはE棟側1階入口から入ってすぐの階段を上る）から入ると個人用のキャレールが48席ある自習室があります。

※オープンスタジオのある2階からは、自習室に行くことはできません。

(11) 利用上の注意

①館内では喫煙、携帯電話での通話は禁止です。

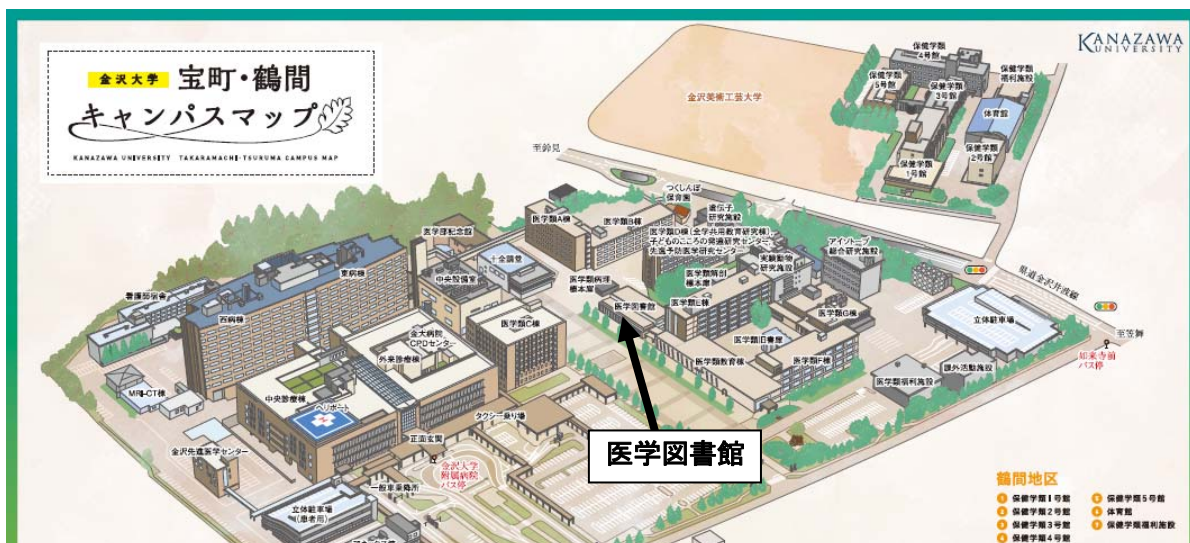
※2階オープンスタジオ奥に携帯電話専用ブースがありますので、ご利用ください。

②館内では食事はできません。

ペットボトルなどフタの閉まる容器の飲み物のみ持ち込みができます。

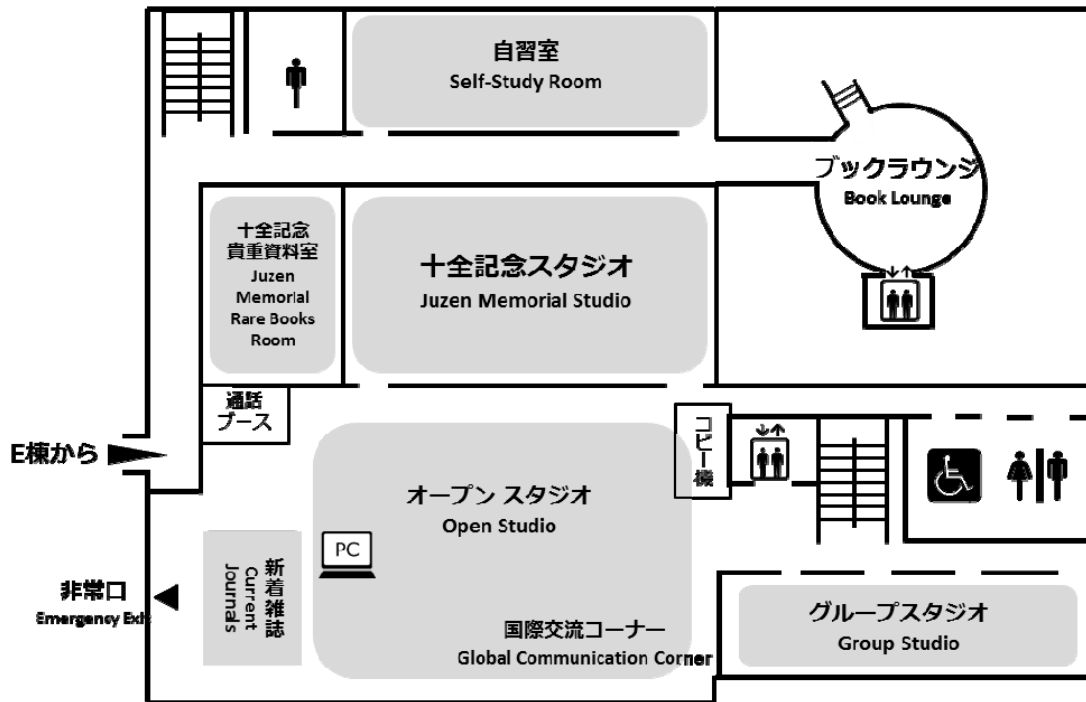
※ただし1階ブックラウンジのみ飲食可能です。

③貴重品などは、常に身につけておくようにしてください。

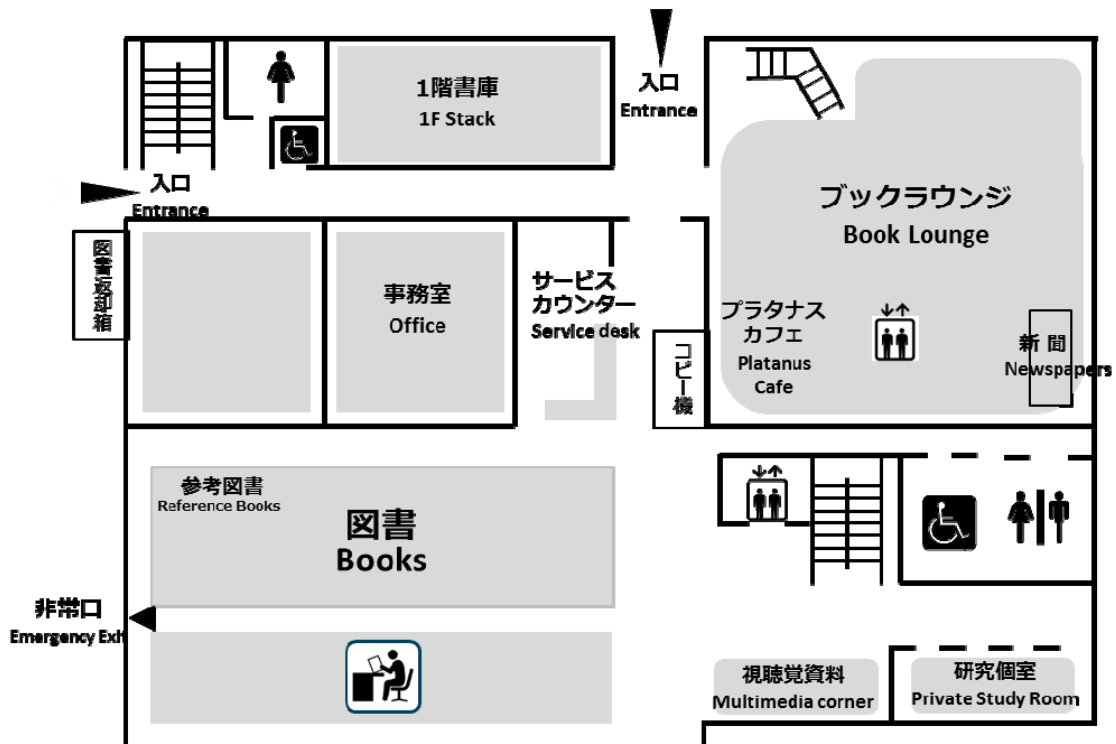


医学図書館 電話番号：076-265-2141

平面図【2階】



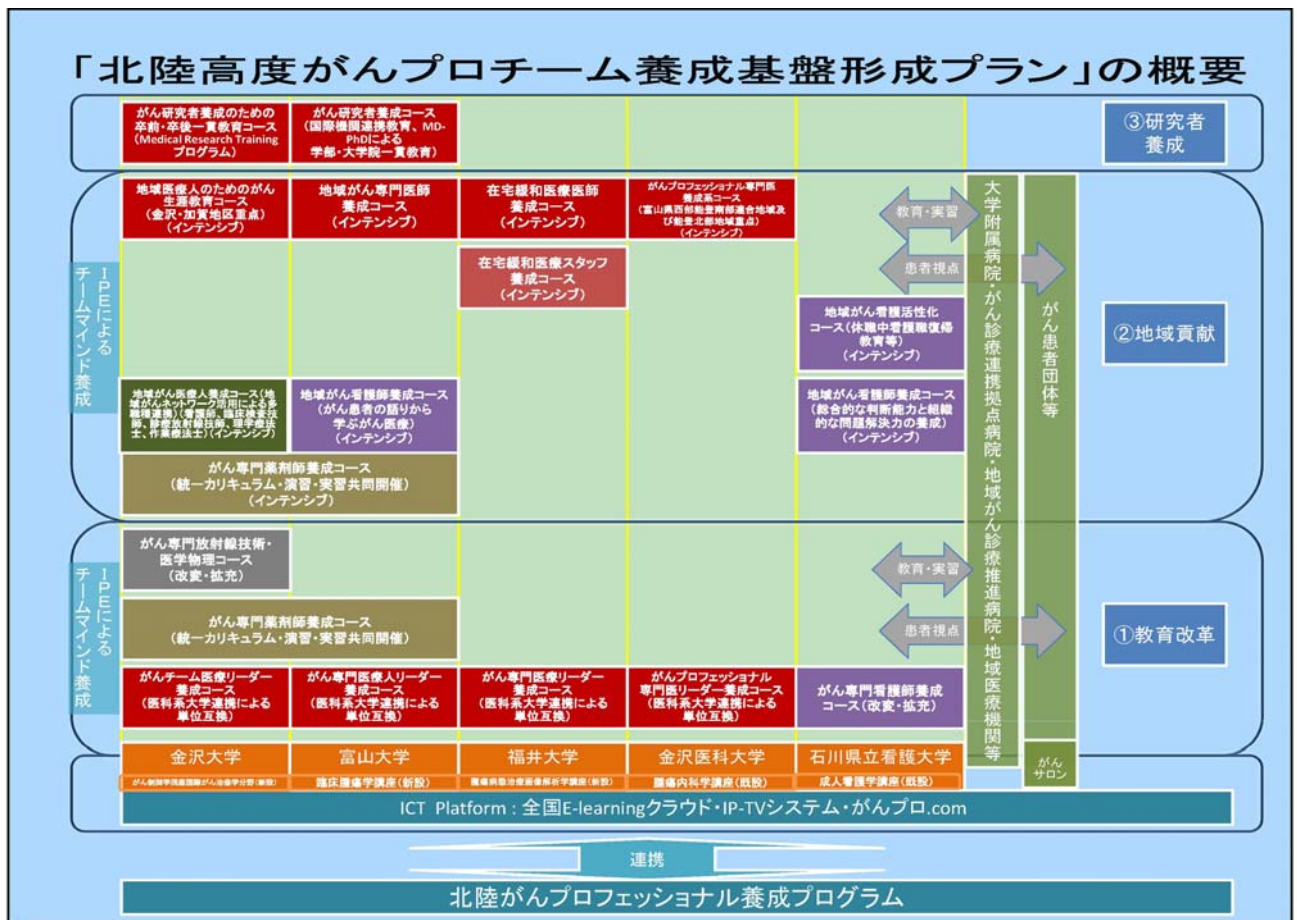
平面図【1階】



北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系について

1. 北陸がんプロの概要

平成19年4月から施行された「がん対策基本法」の第14条には“国及び地方公共団体は、手術・放射線療法・化学療法その他のがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の養成を図るために必要な施策を講ずるものとする”と記載されている。この趣旨に基づき、文部科学省が“がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがんの診療に携わるスタッフ等、がんに特化した医療人の養成を行うための大学(大学病院、大学院)の優れた取り組みを支援する”目的で平成19年度から創設した計画が「がんプロフェッショナル養成プラン」です。



全国の大学から応募があった中から、北陸地区の課題も含む18課題が採択されました。北陸地区は4医科系大学(金沢大学、富山大学、金沢医科大学、福井大学)と石川県立看護大学の5大学が共同申請し、北陸3県のすべてのがん診療連携拠点病院に協力施設として加わっていただきました。採択課題名は「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム -ICT による融合型教育システム及び“がんプロネット”の構築-」で、プログラム全体のコンセプトは、①共通カリキュラムによる融合型教育の相互補完、②テレビカンファレンスによる双方向授業、③カンサーボードによる集学的管理、④標準的治療の実施とアウトカムの検証、⑤臨床共同研究の推進と先進医療の開発、⑥一般住民及び医療従事者向けの様々ながん情報の発信です。

本プログラムには3つのコースが設定されています。①つ目は「北陸がんプロフェッショナル専門医養成コース」であり、高い臨床能力と研究能力を併せ持った臨床医を養成するために、大学院博士課程4年間の間に、がん臨床とがん研究との教育指導の両者をバランスよく按分することによって、効率的な環境下(充実した教育指導と高度な機器)で学位の取得とともに各科専門医資格、腫瘍専門医認定が得られることを目指す一石三鳥のプログラムです。②つ目はがん専門医療スタッフの養成を目的とした「北陸がんプロフェッショナルがん専門

薬剤師養成コース」、「北陸がんプロフェッショナルがん専門看護師養成コース」、「北陸がんプロフェッショナルがん専門診療放射線技師養成コース」で、がん医療に特化した実践的教育を、医師も含め職種を越えて高度な融合型教育を行い、学位の取得とともに、がんチーム医療に積極的に貢献できる職業人の養成を目指すプログラムです。③つ目は「北陸がんプロフェッショナル インテンシブ医師コース」、「北陸がんプロフェッショナル インテンシブコメディカルコース」です。対象は、すでに学位や学会の専門医、認定医を取得した医師や一定の実務経験を有する医療スタッフで、科目等履修生等により一定期間の講義や臨床実習を受けることにより、がんの診断・治療・研究に必要な高度な知識・技術の修得を目指すコースです。これらに加え、平成 21 年度から「北陸がん専門臨床検査技師コース」も設置されました。

これらのコースは新たに「北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プラン」として継続・拡充されます。

2. 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科規程(抄)

第11条 保健学専攻（博士前期課程）に北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系（以下「がん専門スタッフ養成系」という。）を置く。

がん専門スタッフ養成系に関する授業科目及び単位数は別表8のとおりとする。

別表8 北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系における授業科目及び単位数

がん専門スタッフ養成系		授業科目及び単位数	
がんプロ共通科目		腫瘍薬物学特論*	1
		腫瘍放射線医学特論*	1
		がん緩和医療学特論*	1
		コンサルテーション論	2
		分子生物学入門	1
		医療統計学特論	2
		放射線治療物理臨床技術学特講*	2
放射	演習科目	放射線治療安全技術学演習	4
		臨地マネージメント演習	4
	専門科目	医学物理学特論	2
		放射線治療安全技術学特論	2
検査	演習科目	臨地マネージメント病理演習	4
		腫瘍分子生物学演習	4
		細胞診断学演習	4
	専門科目	腫瘍分子生物学特論	2

注1：*印科目は博士後期課程開講科目であるが、がん専門スタッフ養成系では博士前期課程開講科目として充当する。
ただし、博士前期課程の修了に必要な単位数には算入しない。

注2：「がん専門診療放射線技師」認定には、上記開講科目（検査開講科目を除く）から6科目14単位以上が必要。

注3：「がん専門臨床検査技師」認定には、上記開講科目（放射開講科目を除く）から、「腫瘍分子生物学特論」、「臨地マネージメント病理演習」及び「細胞診断学演習」の3科目10単位を必修とし、選択科目として上記開講科目（「放射線治療物理臨

床技術学特講」を除く)から3科目5単位以上の修得が必要。

【参考 北陸がんプロフェッショナル養成プログラムで受講可能なその他の授業科目、単位数および講義形態】

授業科目の名称	単位数	講義形態
腫瘍病理学特論	1	e-learning + スクーリング
臨床腫瘍学特論	1	e-learning + スクーリング
がん外科学特論	1	e-learning + スクーリング
腫瘍薬物学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
腫瘍放射線医学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
がん緩和医療学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
腫瘍病理学演習	1	e-learning + スクーリング
臨床腫瘍学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
がん外科学演習	1	スクーリングまたは臓器別 CB カンファレンス
分子腫瘍学特論	1	e-learning + スクーリング
臨床統計学特論	1	e-learning + スクーリング
臨床栄養学特論	1	e-learning + スクーリング
臨床統計学演習	1	e-learning + スクーリング

授業内容については次を参照すること: <http://gan-pro.net/member/info/syllabus/>

【受講方法】

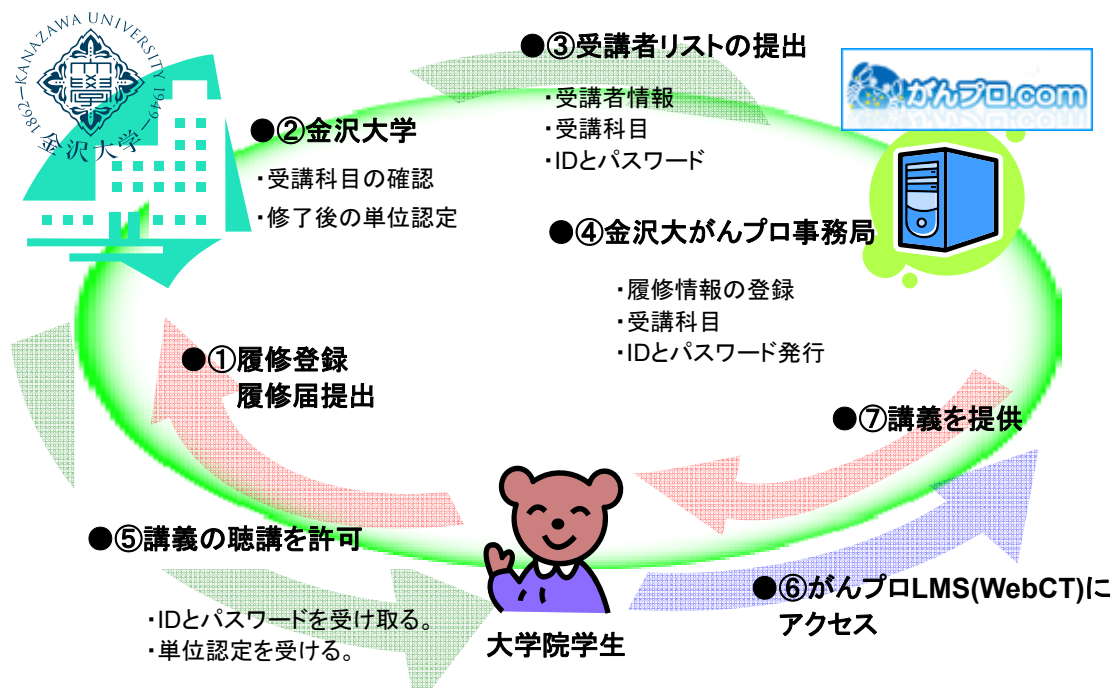


図2: 本科生(大学院学生)の受講方法

- ① 受講科目を選択し、決められた期間に履修登録手続き(がんプロ履修届の提出)を行ってください。履修登録期間は各学期開始時に掲示等でお知らせします。
- ② その後、学務係からIDとパスワードがメールにて送られてきます。これらはE-learningの受講に必要です。対面授業の場合は、担当教員の指示に従ってください。

- ③ E-learning 科目であっても指定された期日のスクーリングに参加しないと単位が認定されない場合があるので、注意してください。講義及びスクーリング受講方法、単位認定方法等、詳しくはがんプロホームページを参照してください。

○がんプロホームページ <http://gan-pro.net/member/>

【資格認定方法】

- ① 各コースにおいて別途定められている認定要件を充足した場合、資格認定申請料（1,000円）を「NPO法人がんプロフェッショナル認定機構」の指定する銀行口座に振り込んだ上で、振込領収書の写し及び「NPO法人がんプロフェッショナル認定機構資格認定申請書」を保健学務係まで提出してください。
- ② 申請にあたり添付が必要な「がんプロ科目修了証書」は学務係が認定機構へ代理申請します。

【インテンシブコースの案内】

上記の本科生コース以外に、チーム医療の養成を目的とした研修コース（インテンシブコース）が開講されています。詳細はがんプロ事務局で案内されています。

○がんプロ事務局 TEL : (076) 234-4205 URL : <http://gan-pro.net/>

※インテンシブコースにおけるE-learning受講の際に必要なID/パスワードは、上述の本科生コースで使用するID/パスワードとは異なりますのでご注意ください。

北陸高度がんプロチームがん専門スタッフ養成系

履 修 届

コ ー ス 名: がん専門診療放射線技師認定・がん専門臨床検査技師認定

(該当のコース名に○)

領 域 名: _____

教育研究分野名: _____

氏 名: _____

学 籍 番 号: _____

E-mail(PCのもの): _____

がん専門スタッフ養成系		授業科目及び単位数		時間割番号	履修科目に✓
がんプロ共通科目		腫瘍薬物学特論*#	1	16001	
		腫瘍放射線医学特論*#	1	16004	
		がん緩和医療学特論*#	1	16005	
		コンサルテーション論# 注5	2	16006	
		分子生物学入門#	1	16020	
		医療統計学特論	2	03006	
		放射線治療物理臨床技術学特講*	2	16018	
放射	演習科目	放射線治療安全技術学演習	4	03324	
		臨地マネージメント演習	4	03007	
	専門科目	医学物理学特論#	2	03303	
		放射線治療安全技術学特論	2	03323	
検査	演習科目	臨地マネージメント病理演習	4	03355	
		腫瘍分子生物学演習	4	03354	
		細胞診断学演習	4	03356	
	専門科目	腫瘍分子生物学特論	2	03353	

注1: *印科目は博士後期課程開講科目であるが、がん専門スタッフ養成系では博士前期課程開講科目として充当する。

ただし、博士前期課程の修了に必要な単位数には算入しない。

注2: 「がん専門診療放射線技師」認定には、上記開講科目(検査開講科目を除く)から6科目14単位以上が必要。

注3: 「がん専門臨床検査技師」認定には、上記開講科目(放射開講科目を除く)から、「腫瘍分子生物学特論」、「臨地マネージメント病理演習」及び「細胞診断学演習」の3科目10単位を必修とし、選択科目として上記開講科目(「放射線治療物理臨床技術学特講」を除く)から3科目5単位以上の修得が必要。

注4: 各科目の詳細は、Webシラバスを参照してください。(http://gan-pro.net/member/info/syllabus/)

注5: コンサルテーション論の履修に関しては、必ず事前に保健学系 武村哲浩教授に相談してください。

注6: #印はe-learningとスクーリングにより単位認定されます。

【北陸がんプロフェッショナル養成プログラムで受講可能なその他の授業科目】

授業科目の名称	単位数	時間割番号	履修科目に✓
腫瘍病理学特論#	1	16007	
臨床腫瘍学特論#	1	16008	
がん外科学特論#	1	16009	
腫瘍薬物学演習	1	16010	
腫瘍放射線医学演習	1	16011	
がん緩和医療学演習	1	16012	
腫瘍病理学演習#	1	16013	
臨床腫瘍学演習	1	16014	
がん外科学演習	1	16015	
分子腫瘍学特論#	1	16016	
臨床統計学特論#	1	16002	
臨床栄養学特論#	1	16003	
臨床統計学演習#	1	16017	

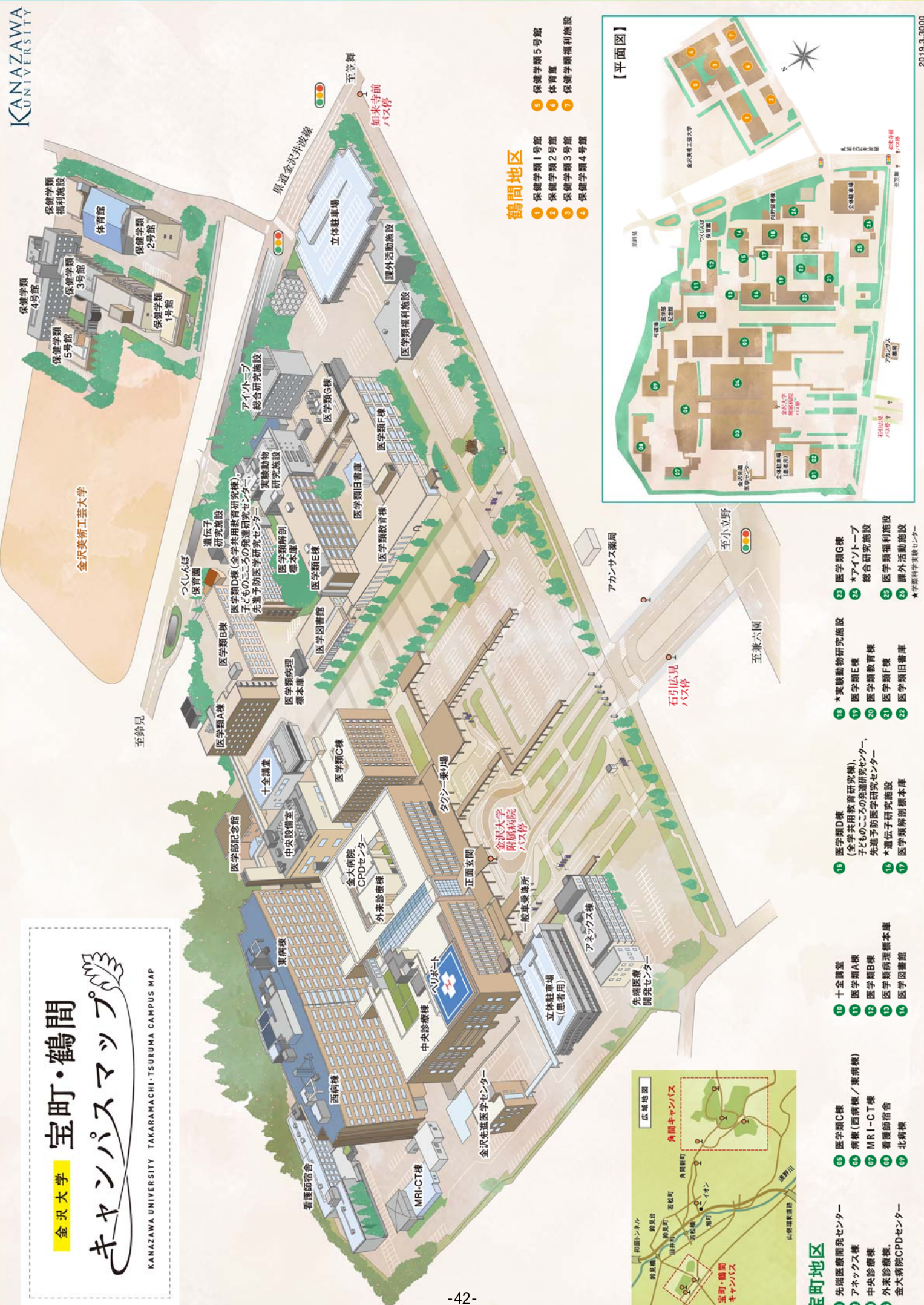
注 #印は e-learning とスクーリングにより単位認定されます

本票は、履修登録期間内に学務係へ提出してください。
受講にあたっては、必ず主任指導教員の了解を得てください。

宝町・鶴間

キャンパスマップ

KANAZAWA UNIVERSITY TAKARAMACHI-TSURUMA CAMPUS MAP



鶴間地区

- 1 保健学類1号館
- 2 保健学類2号館
- 3 保健学類3号館
- 4 保健学類4号館
- 5 保健学類5号館
- 6 体育館
- 7 保健学類福利施設

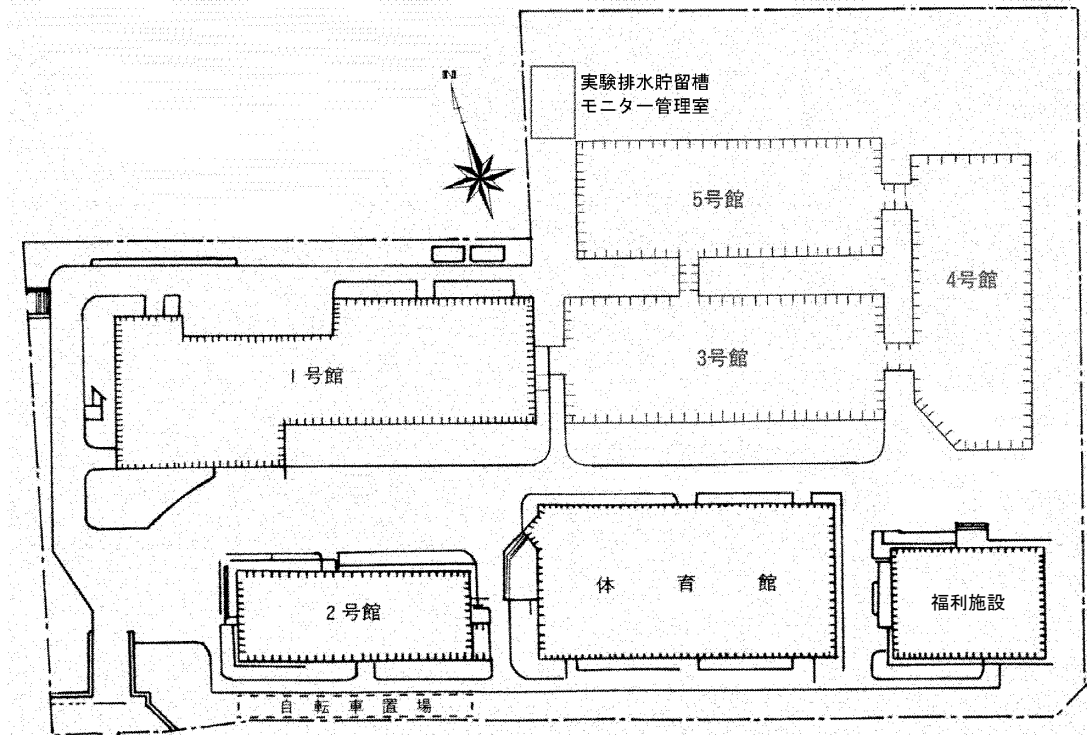
宝町地区

- 01 先端医療開発センター
- 02 アネックス棟
- 03 中央診療棟
- 04 外来診療棟
- 05 金大病院CPDセンター
- 06 医学部C棟
- 07 病棟(西病棟/東病棟)
- 08 MRI-CT棟
- 09 看護師宿舎
- 10 北病棟
- 11 十全講堂
- 12 医学部A棟
- 13 医学部B棟
- 14 医学部病理標本庫
- 15 医学部図書館
- 16 医学部D棟 (全学共用教育研究棟, 子どものこころの発達研究センター, 先進予防医学研究センター)
- 17 医学部解剖標本庫
- 18 実験動物研究施設
- 19 医学部E棟
- 20 医学部教育棟
- 21 医学部F棟
- 22 医学部旧書庫
- 23 医学部G棟
- 24 *アイソトープ 総合研究施設
- 25 医学部福利施設
- 26 医学部活動施設
- 27 医学部科学実験センター



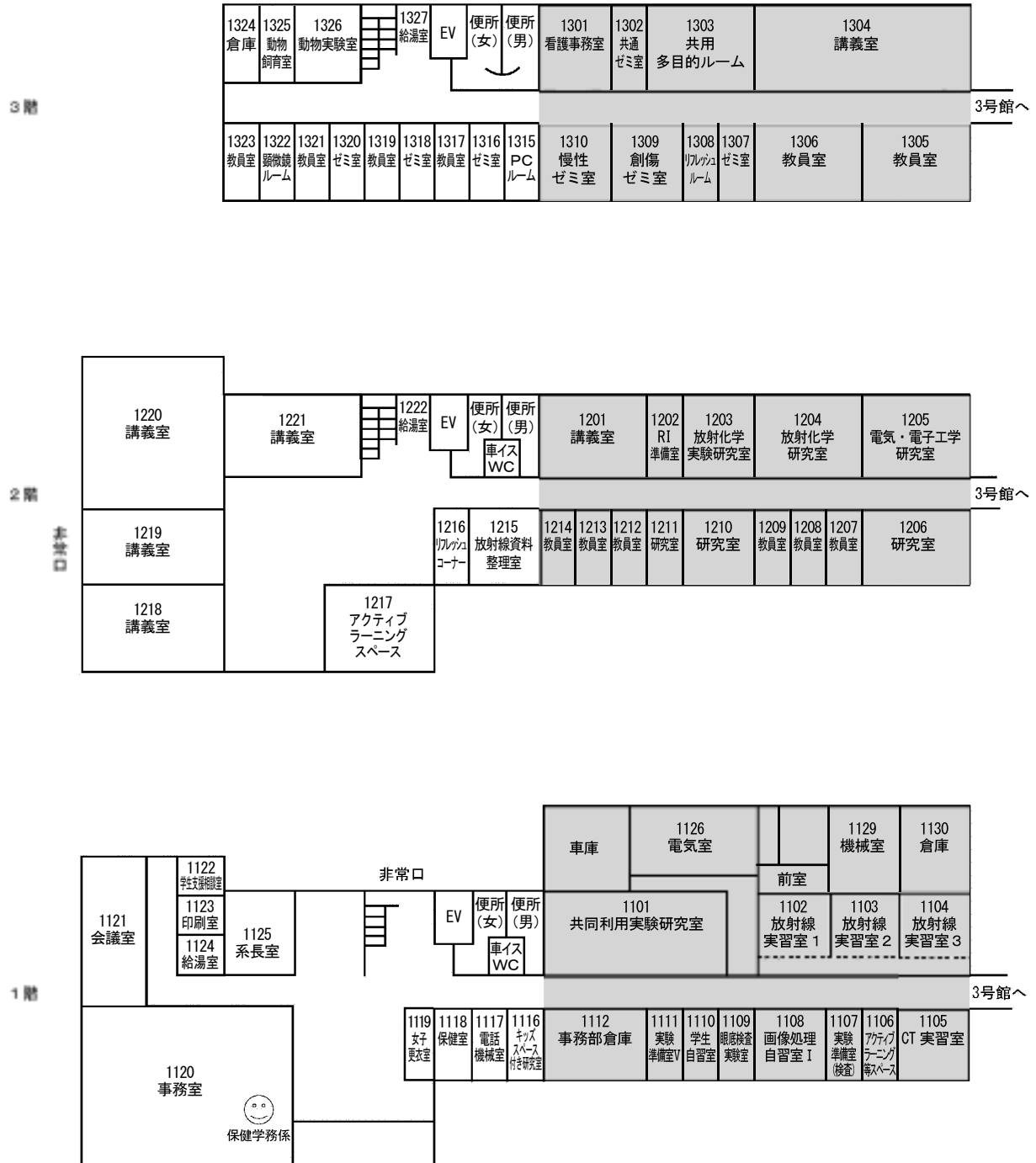
金沢大学医薬保健学域保健学類校舎

(1) 配置図



(2) 平面図

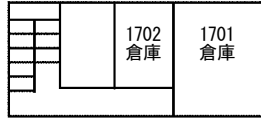
1号館平面図 (1~3階)



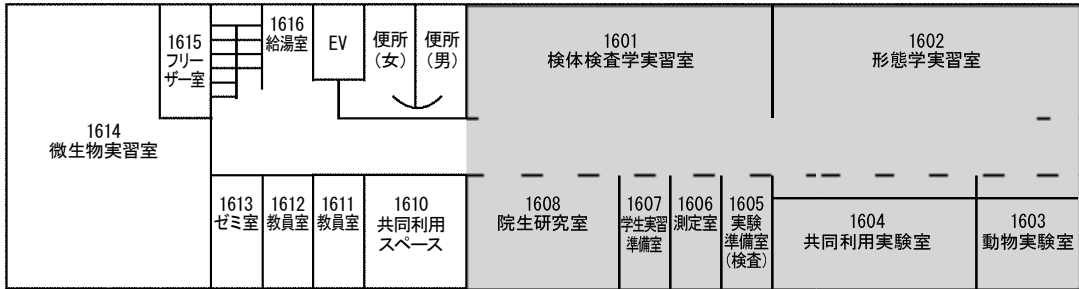
(補足) 1号館の東側(グレー塗りの箇所)は、2019年5月末まで改修工事につき、完成予想図を掲載しています。内容は変更となる場合があります。

1号館平面図（4～7階）

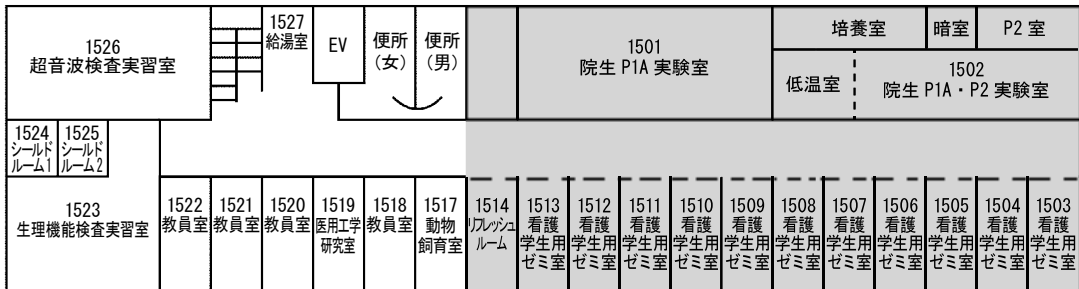
7階



6階



5階

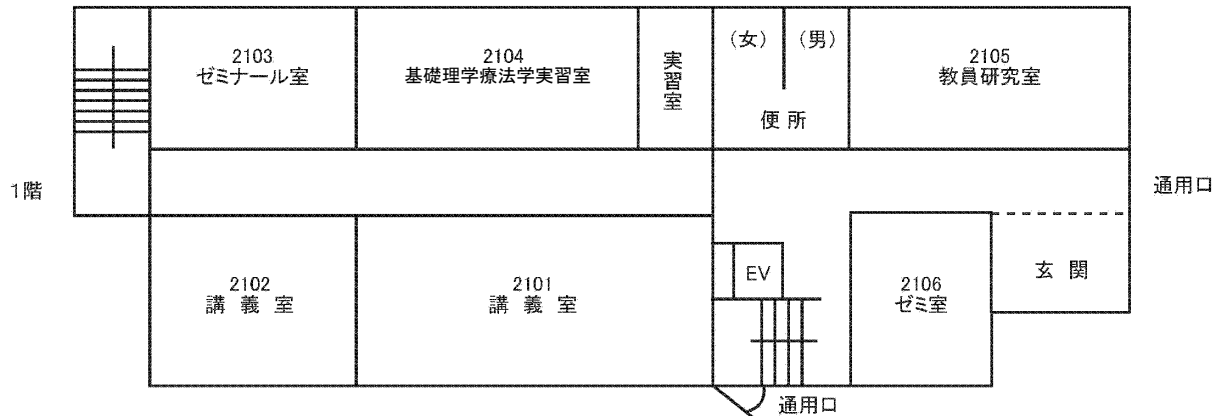
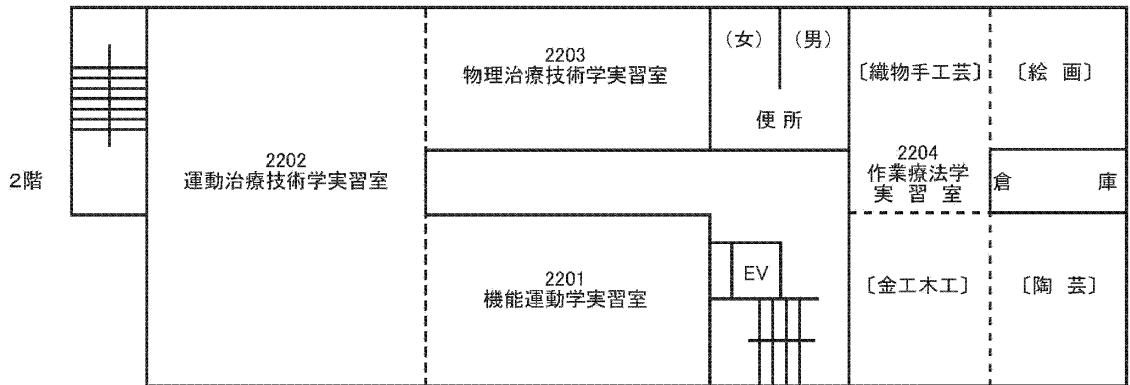
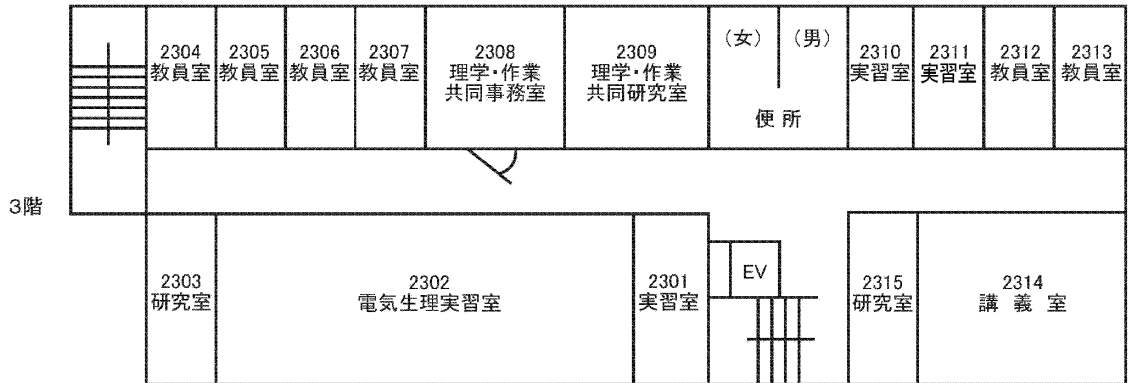


4階



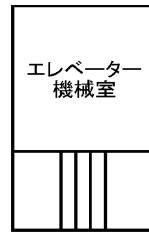
(補足) 1号館の東側（グレー塗りの箇所）は、2019年5月末まで改修工事につき、完成予想図を掲載しています。内容は変更となる場合があります。

2号館平面図（1～3階）

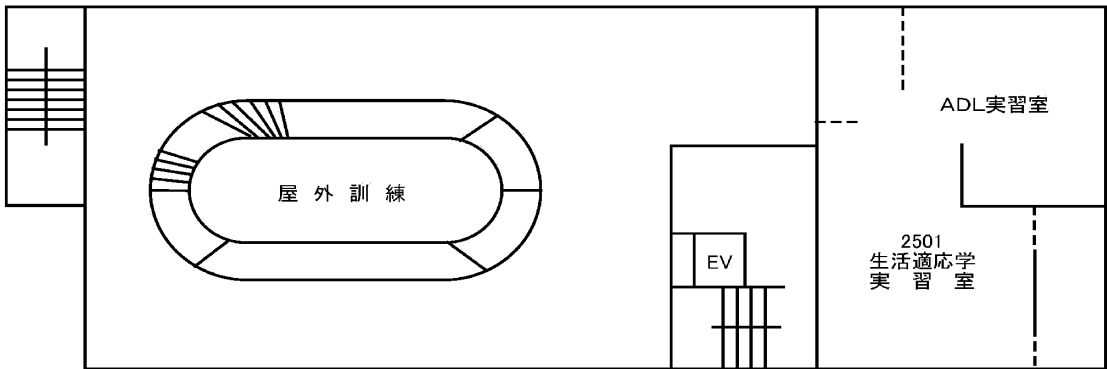


2号館平面図（4～6階）

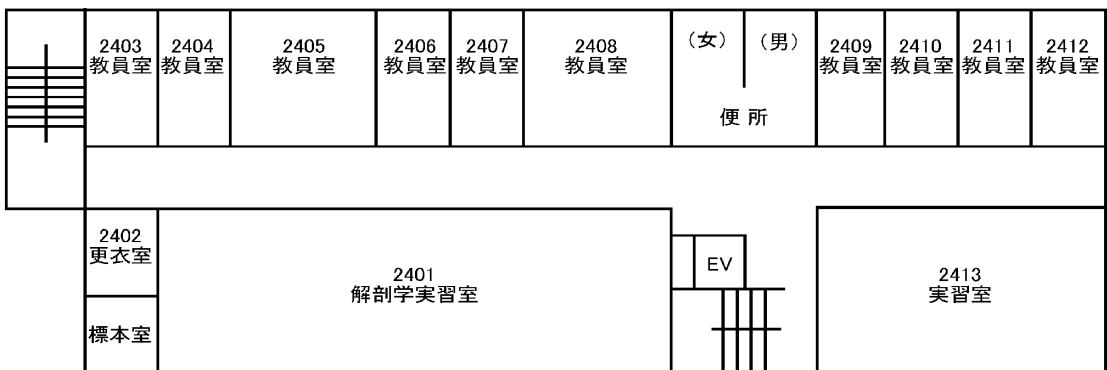
6階



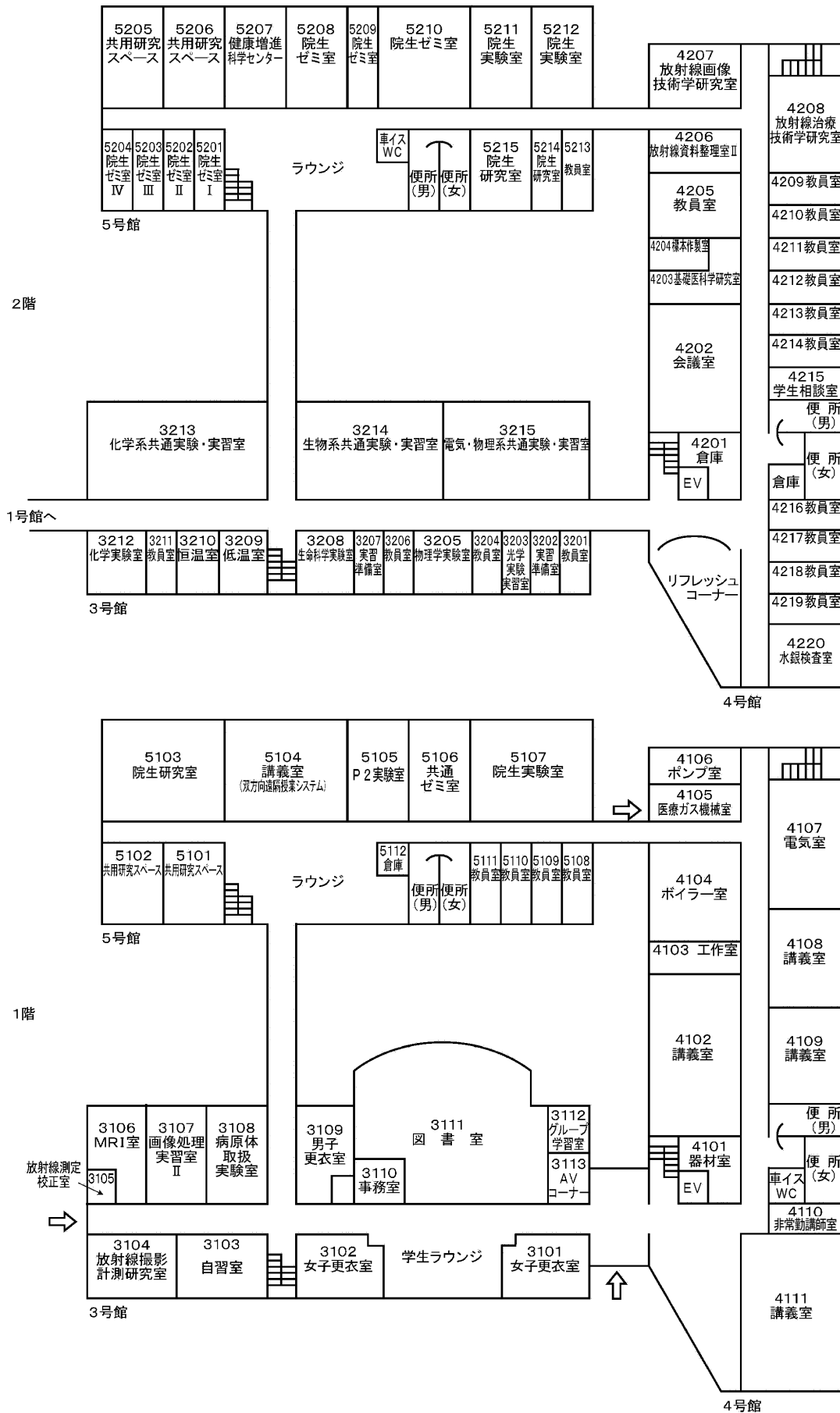
5階



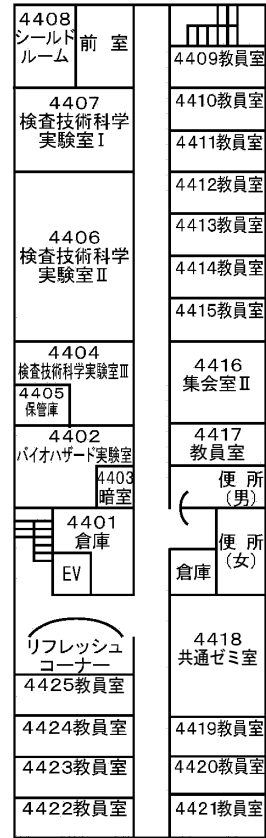
4階



3・4・5号館平面図（1～2階）

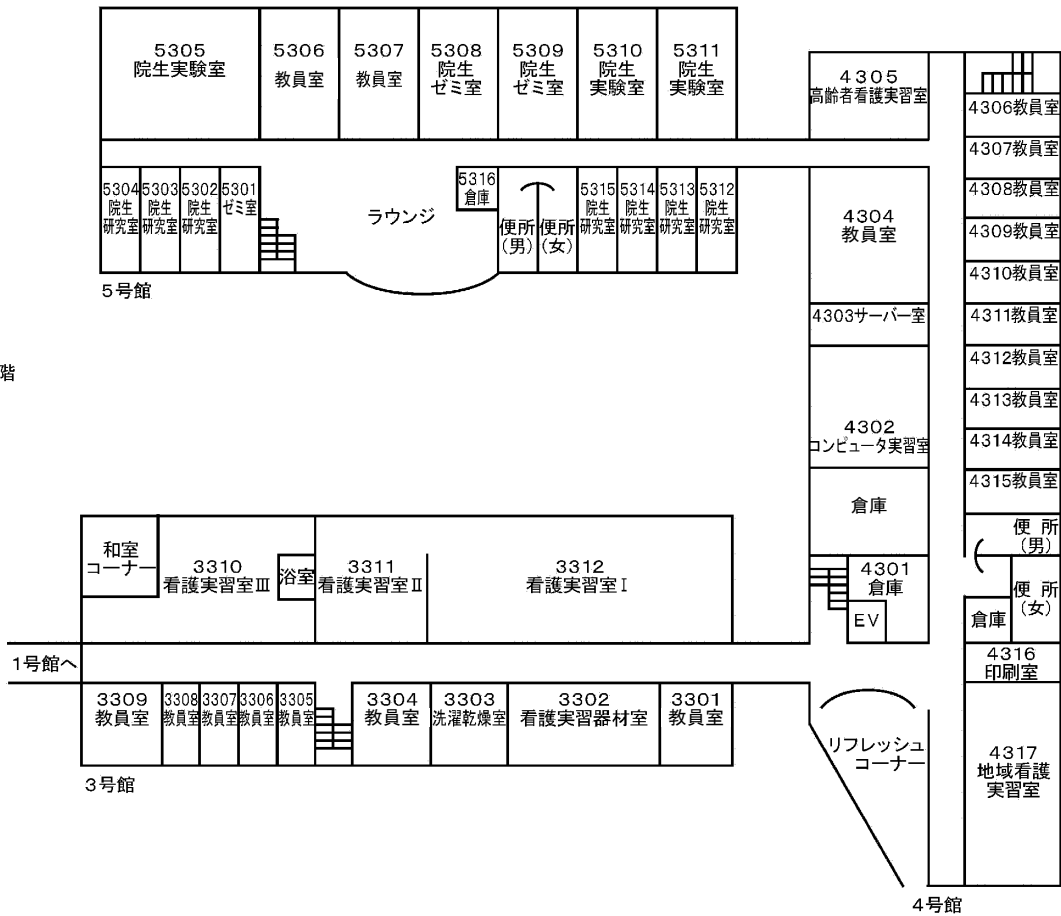


4階

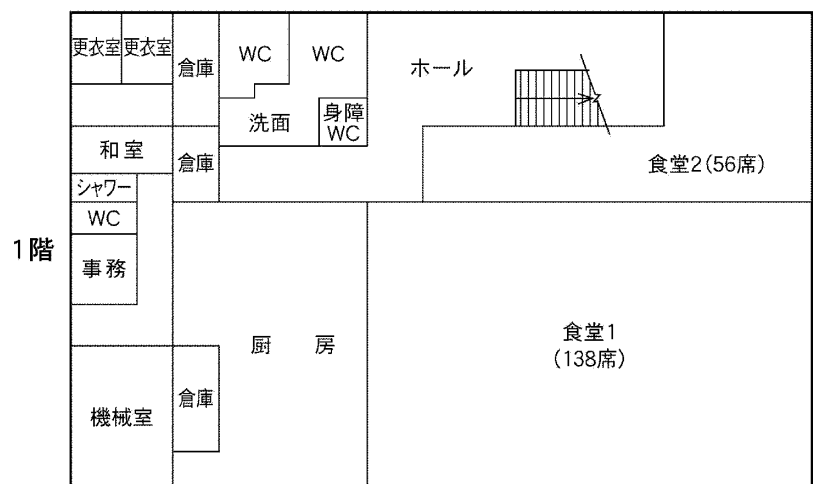
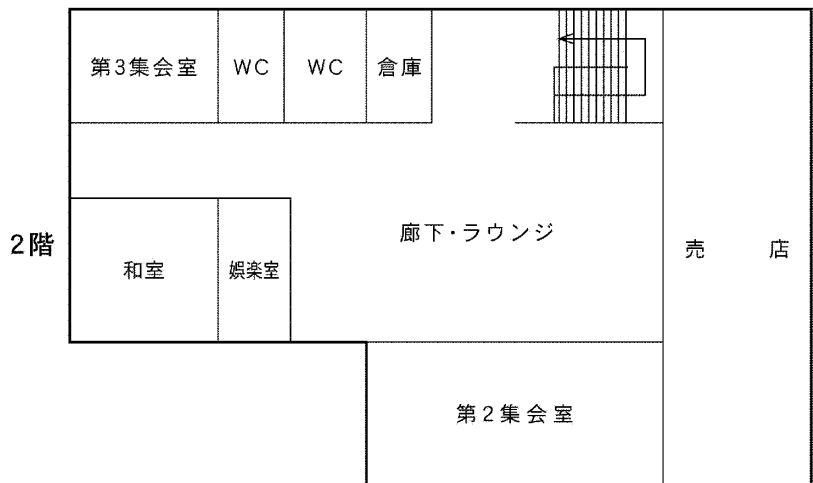


4号館

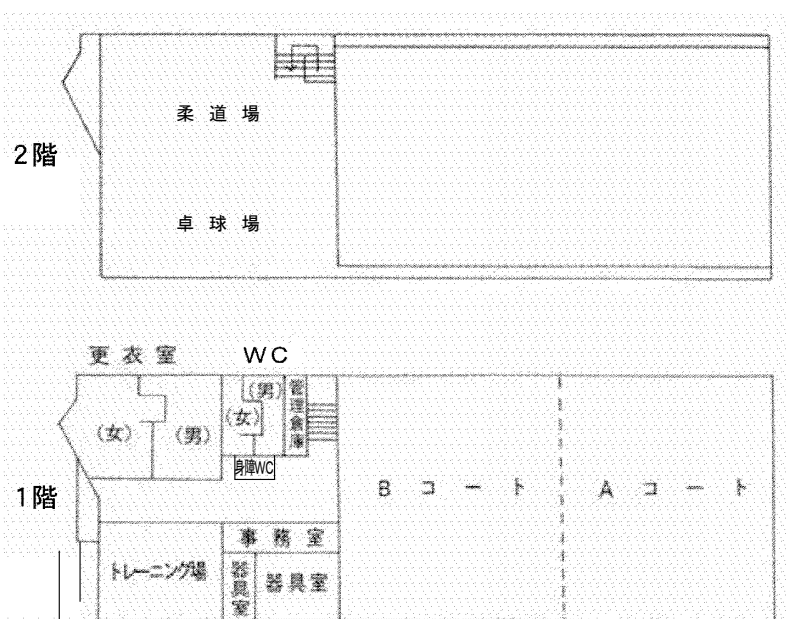
3階



福利施設棟平面図



金沢大学小立野体育館平面図



2019年4月

金沢大学医薬保健系事務部

保健学支援課保健学務係

〒920-0942 石川県金沢市小立野5-11-80
TEL (076) 265-2514~2517
FAX (076) 234-4351
E-mail t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp